

資料 1

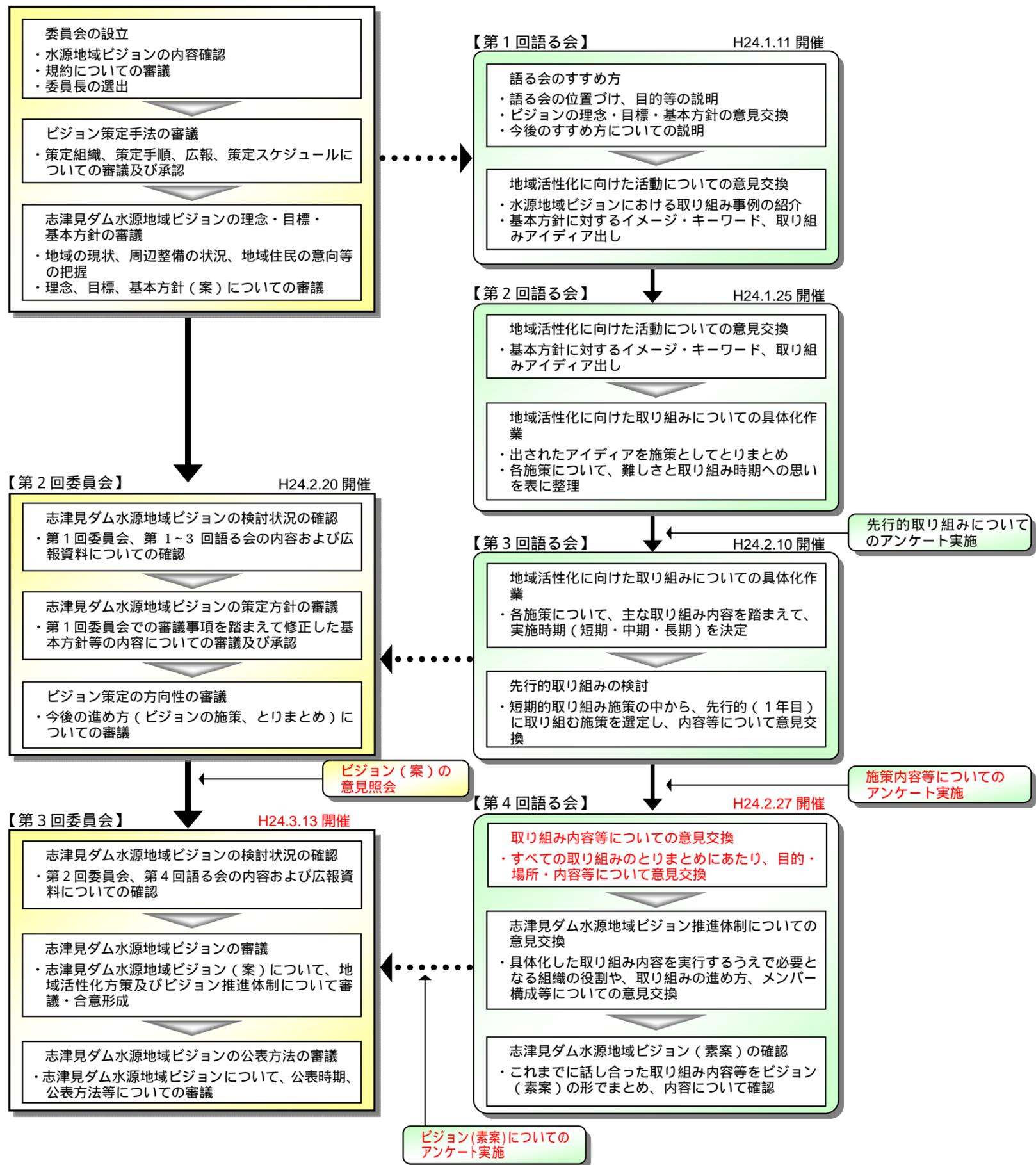
志津見ダム水源地域ビジョンの検討状況

- 1．志津見ダム水源地域ビジョン策定の流れ
- 2．第2回志津見ダム水源地域ビジョン策定委員会について
- 3．第4回志津見ダムの活用を語る会について
- 4．広報について
- 5．策定スケジュール

平成24年3月13日

志津見ダム水源地域ビジョン策定委員会事務局

1. 志津見ダム水源地域ビジョン策定の流れ



2. 第2回志津見ダム水源地域ビジョン策定委員会について

(1) 開催概要

開催日時：平成24年2月20日(月) 10:00～12:00

出席者：山碓英樹委員長、山下潔委員、天津芳郎委員、植田充弘委員、平山大輔委員

審議事項：経過報告

志津見ダム水源地域ビジョンの理念・目標・基本方針の一部修正について

志津見ダム水源地域ビジョンにおける施策について

志津見ダム水源地域ビジョンの構成について

今後の予定について

(2) 第2回委員会での委員意見と対応内容

経過報告について

	主な意見	対応内容
1	志津見ダムだより、ニュースレターは出雲市に配布しているが松江市にも配布してはどうか？	出雲河川事務所対応済み（H24.2.21） 松江市大橋川対策室と大橋川コミュニティセンターに配布

志津見ダム水源地域ビジョンの理念・目標・基本方針の一部修正について

	主な意見	対応内容
2	語る会の中で理念・基本方針についての意見、感想があれば教えて欲しい。	第2回委員会で説明済み 第1回～第2回語る会での意見を説明

志津見ダム水源地域ビジョンにおける施策について

	主な意見	対応内容
3	施策テーマ 自然環境の保全活用施策のエコロジカルネットワークの簡易水質調査、志々小学校の学習会等は、上下流の交流施策も関連してくると思う。	第2回委員会で説明済み エコロジカルネットワークは、上下流交流を考慮している
4	簡易水質調査の実施については、飯南町として教育委員会との連携が必要。	飯南町で対応検討
5	民具や遺物(土器等)などは、飯南町教育委員会の文化としての視点から、里がえり展示で広く見ていただくような機会が必要であると考えている。	第3回委員会に提案 アクションプラン「-2 遺物の展示」の取り組み内容として検討(第4回語る会です承)
6	川づくりの検討委員会の中で、鳥根県の自然環境保全地域6箇所中2箇所(女亀山、赤名湿地性植物群落)が飯南町、この流域にあることを考慮して進めていくこととなっている。	ビジョン推進に継承していく
7	どういう川づくりをしていくかを飯南町の全戸、学校にもアンケートをする。結果は6月頃の予定。	ビジョン推進に継承していく
8	雲南県土整備事務所では、川や道路の環境整備にも取り組んでおり、協力して進めていきたいと思っている。	ビジョン推進に継承していく
9	国道184号、主要地方道川本波多線は雲南圏域の中でも重点区域として草刈りを行う予定であり、具体的には地元と相談しながら進めていきたい。	ビジョン推進に継承していく
10	短期、中期、長期の中身をみると、「すぐやる」か「次にやる」か「最後にやる」かの仕分けであるので、例えば、早期、中期、後期という仕分けがいいのではないかと思う。	第3回委員会に提案 アクションプランの着手時期を「早期」、「中期」、「後期」の分類に変更することを検討(第4回語る会です承)
11	広域的な取り組みが非常に大切であり、志津見ダム、ダム湖は鳥根県民の心のふるさとなってくれればいいと思う。もう少し幅の広い取り組みが必要だと思う。	第3回委員会に提案 アクションプラン「-1 広域的な連携検討」の取り組み内容として検討(第4回語る会です承)
12	尾原ダムとは兄弟・姉妹ダムの位置づけであるので連携も必要だと思う。	
13	県の皆様の努力、全面的な協力がなければ地元だけでは発想が浮かばないので、財政的な指導もあわせてお願いしていきたい。	鳥根県として関係機関と調整を図り検討する

志津見ダム水源地域ビジョンにおける施策について

	主な意見	対応内容
14	施策テーマは「ふるさとづくりのテーマ」、施策の分類は「プロジェクト」にして、取り組み施策も「アクションプラン」とか、もう少し柔らかい言葉がいい。	第3回委員会に提案 施策の体系化におけるタイトルを「ふるさとづくりのテーマ」「プロジェクトの分類」「アクションプラン」に変更することを検討（第4回語る会です承）
15	短期、中期、長期の3つに分けているが、「すぐやること」「ちょっと考えてからスタートすること」の2つの分けでもいいのではないか。	第3回委員会に提案 アクションプランの着手時期を「早期」「中期」「後期」の分類に変更することを検討（第4回語る会です承） (No.10と同じ)
16	神戸川「川の駅づくり」は、拠点という意味での川の駅だと思うが、駅はいくつかあった方がいい。神戸川下流、松江を含めて水系、流域の中でいくつかの駅をネットワークでつなぐことが出来ればいいと思う。	ビジョン推進段階で考慮
17	連携施策で、三瓶山、石見銀山、大田市、川本町は出てくるが、雲南市が出てこない。西側だけの連携ではなく通過交通をうまく取り込んだ連携が必要。吉田掛合ICもできることから三瓶観光と結びつけた流れの一環としての連携がある。	第3回委員会に提案 アクションプラン「-1 広域的な連携検討」の取り組み内容とすることを検討（第4回語る会です承）
18	放牧は、河川敷だと糞が流されダムの富栄養化が出てくるので気になる。	第2回委員会で説明済み 環境に害がないように留意しながら取り組む 牛・羊・山羊など飼育種については、ビジョン推進段階で考慮
19	尾原ダム、志津見ダムの今後の利用については、県に指導いただいて、資金的なところの目処をしっかりとしていかなければならないということで、取り組みの検討を始めようとしている。	ビジョン推進段階で考慮
20	時間軸と表現については今後検討して欲しい。	第3回委員会に提案 アクションプランの着手時期を「早期」「中期」「後期」の分類に変更することを検討（第4回語る会です承）
21	実施主体の定義についてもう一度説明して欲しい。	第2回委員会で説明済み 実施主体について再度説明

	主な意見	対応内容
22	実施主体の定義にある事務局的な立場とは？どのような意味かを説明して欲しい。	第2回委員会で説明済み 語る会のメンバー+ の推進体制で実施していくイメージであることを説明
23	1年目に取り組む事項、実施主体、実施項目と役割分担は先行施策だけ作るということか？	第2回委員会で説明済み 第2回委員会 資料-3の4ページ上から2行目の内容を説明
24	1年目の施策までは少し具体的に踏み込んで、誰が何をするかを整理したうえで次の実施段階のメンバーに引き渡していくということでしょうか？	第2回委員会で説明済み 同様の考えであることを回答
25	先行施策の実施主体を明記することになっているが、施策内容に幅が広く、一部の部局だけでは決定づけられない。よって、機関内で十分、協議、調整が必要と考える。	島根県はビジョン推進段階において機関調整が必要
26	いろんな部局があると思うが、ここにいる委員が県や国を代表しているというふうにはならないが、地域の思いを受けて一生懸命汗をかきましようとする意味での 印だと思っている。	ビジョン推進に継承していく
27	ダムの施設を活用しての地域づくりを未来永劫続けていくには地域が主体となって続けていく必要がある。行政は縁の下での力持ちとして財政的、人的支援をしていくのが基本と考えている。	島根県はビジョン推進段階において機関調整が必要
28	既存の制度を活用して取り組めることは取りくんでいこうというふうに理解している。	ビジョン推進段階で考慮
29	オール県庁、オール島根県として対応していただき、ビジョンとして整理されたものを県に持ち帰り、支援について整理をしていただきたい。	島根県はビジョン推進段階において機関調整が必要

その他

	主な意見	対応内容
30	広域地図でダムからの距離は同心円の表現でいいが、これを移動時間で表現してもらいたい(道路ごとに1時間ではここまで行けるなど)	第3回委員会で提示 広域図に走行時間を追加した図を作成

3. 第4回志津見ダムの活用を語る会について

(1) 開催概要

会議名	第4回 志津見ダムの活用を語る会
開催日時	平成24年2月27日(月) 19:00~21:00
出席者	地域住民、地域活動団体、関係行政機関、事務局 計21名
テーマ等	地域活性化に向けた取り組みについての意見交換 テーマ:「みんなの意見をまとめよう!」
要旨	<p>志津見ダム水源地域ビジョンの経過報告(資料-1)</p> <p>第2回志津見ダム水源地域ビジョン策定委員会の議事内容についての説明を行い、委員会での意見に基づき事務局案として提案した以下の内容について承認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策の体系化について、「施策のテーマ」を「ふるさとづくりのテーマ」、「施策の分類」を「プロジェクトの分類」、「取り組み施策」を「アクションプラン」に変更する。 ・アクションプランの実施時期について、「短期・中期・長期」を「早期・中期・後期」に変更する。 <p>志津見ダム水源地域ビジョンの施策の内容(案)について(資料-2)</p> <p>これまでの意見交換の結果及び第3回語る会の開催後に実施したアンケート結果にもとづきとりまとめた各施策の具体的内容について意見交換。</p> <p>全アクションプラン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ -3「特産品の開発」の取り組み場所は、拠点としてうぐいす茶屋周辺の交流エリア及びさつき会館とする。 ・ -4「ラジコンボートレース大会」の取り組み場所は、ダム湖内(ダム本体からアバ(流木をとらえる網)までを除く)とする。 ・ -1「手作りみどころ案内板」、-2「マップ(パンフレット)づくり」、-1「田舎体験」手作りみどころ案内板、田舎体験の取り組み場所は水源地域として整理する。 ・ -1「広域的な連携検討」の取り組み場所については、三瓶山や石見銀山、出雲市、雲南市、尾原ダムなどとの連携を検討しているため、それらが含まれる「島根県中東部」として整理することを事務局が提案し承認された。 <p>先行アクションプラン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先行アクションプラン6「青空市の活性化」の実施項目と役割分担について、少なくとも「生産から販売までの仕組みづくり」に関しては県および国の役割分担の欄に丸印を追記することを事務局が提案し承認された。

要旨	<ul style="list-style-type: none"> ・先行アクションプラン7「地域懇親会の開催」の取り組み内容に記載のある「地域のイベントカレンダー」については「地域および連携地域のイベントカレンダー」と変更する。 ・先行アクションプラン9「民具の展示」の1年目で取り組むべき事項では「うぐいす茶屋での常設展示」となっているが、志々公民館や志津見ダム管理支所でも1年目から行える可能性があるため、「うぐいす茶屋などでの常設展示」と変更することを事務局が提案し承認された。 ・1年目に取り組むべき事項としては、場所の検討を含めた「カヌー教室の企画・立案」とすることを事務局が提案し承認された。 ・取り組み内容等でもっと広域的な取り組みであることがわかるように表現を修正・追記する。 ・「実施項目と役割分担」の中に「ファンクラブのPR」を追記し、地域・町・県・国の役割分担の欄に丸印を追加する。 <p>ビジョンの推進体制(案)について(資料-3)</p> <p>ビジョン策定後の推進体制(案)について意見交換。</p> <p>ビジョン策定後の推進体制(案)について事務局案を提案し承認された。</p> <p>志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会(仮称)の開催が「原則として年1回開催」となっているが、1回とは限らないので「年1回程度」とする。</p> <p>「県民の森」は「ふるさとの森」に変更する。</p> <p>ビジョンの公表について</p> <p>ビジョンの表紙、サブタイトル(案)について意見交換および投票を行った。投票の結果、新案「彩りと笑顔あふれるいにしへの里 志々」と新案「笑顔と活気あふれる しゃあせの里 ~志津見湖~」が同票であったことから、この2案で再度投票を行った。結果については、委員の投票も行った後に集計し、決定することとした。</p> <p>ビジョンの冊子の表紙の構成は、志々の四季、今昔、見所、人々をテーマとし複数の写真の組み合わせたものの4案を作成し、語る会メンバーにアンケートを行う。</p> <p>その他</p> <p>語る会メンバーに、本日お渡ししたビジョン冊子(案)と表紙の写真についてのアンケートにご協力をお願いすることとした。</p> <p>次回開催等について</p> <p>第3回委員会を、平成24年3月13日(火)14:00~16:00に開催予定(傍聴可)</p>
----	--

(2) 意見交換の結果(内容のとりまとめ)

全アクションプラン

【基本方針1:美しいふるさとづくり】

ふるさとづくりのテーマとプロジェクトの分類	アクションプラン	実施時期(目標)	取り組み内容			備考
			目的	場所	内容	
水源地域の景観形成施策						
分類：水源地域の景観向上 【目的】 上下流域の住民や団体と関係機関が協働で清掃に取り組むことで地域の連帯感を高めるとともに、フラワーバレー周辺の景観向上をめざす。	-1 河川と道路の清掃活動	早期 (1年目)			「先行アクションプラン」として整理	
	-2 クリーンウォーク	早期 (1年目)			「先行アクションプラン」として整理	
	-3 町有林による景観美化	早期 (1年目)			「先行アクションプラン」として整理	
	-4 草刈り研修会 (機械の展示販売、デモンストレーション)	早期 (1年目)			「先行アクションプラン」として整理	
分類：牧歌的な風景づくり 【目的】 家畜を放牧することで、新たに牧歌的な風景を創出するとともに、河川敷の除草や排泄物の利用など景観保全や資源有効活用を行う。	-1 家畜の放牧	中期	・水源地域の新たな景観の創出 ・家畜を利用した除草などによる景観の保全	・河川敷内	牛、羊、山羊などの家畜を放牧することで、新たな河川景観を創出するとともに、河川敷の除草や排泄物の利用など景観保全や資源有効活用を行う。 家畜は借用するなどして、試験的な取り組みや学習会などから始める。	
分類：四季の彩りフラワーバレー 【目的】 ポピー(春)とコスモス(秋)だけでなく、夏の花も花壇に導入し、年間を通じて花が咲いている花畑となるように整備する。	-1 夏の花の花壇整備による年間を通じた花畑の創出	中期	・水源地域の景観向上 ・年間を通じた花畑「フラワーバレー」の形成	・フラワーバレーエリア	ポピー(春)とコスモス(秋)だけでなく、ヒマワリなど夏の花や、多年生の品種や二次利用出来る品種(大根、菜種、紫雲英(げんげ))なども検討して、年間を通じて花が咲いている花畑となるように整備する。 また、将来的に花の蜜を集める養蜂も検討する。	
	-2 フラワーバレーに山野草観賞エリアを整備	中期	・水源地域の景観向上 ・水源地域の新たな魅力の創出	・フラワーバレーエリア	フラワーバレーの新たな花壇として、山野草(薬草も含む)を観賞・学習できるエリアを整備する。 また、山野草の二次利用(お茶、特産品としての加工)なども考慮する。	
	-3 彩りの森の紅葉をライトアップ	早期 (1年目)			「先行アクションプラン」として整理	
	-4 一軒一鉢運動を展開	中期	・水源地域の景観向上 ・地域の連帯感の醸成	・国道184号、県道、町道沿い	地区内で一軒に一鉢ずつ花を育ててもらおう「一軒一鉢運動」を展開し、栽培講習会なども開催しながら景観形成の一助とする。	
自然環境の保全・活用施策						
分類：神戸川エコロジカル・ネットワーク 【目的】 周辺整備施設を活用した自然体験や神戸川流域を対象とした環境学習を実施し、神戸川流域で一体となった取り組みを行う。	-1 水生生物による簡易水質調査の実施	早期 (1年目)			「先行アクションプラン」として整理	
	-2 自然観察会	早期 (1年目)			「先行アクションプラン」として整理	
	-3 山の恵み学習会	早期 (1年目)			「先行アクションプラン」として整理	
	-4 水辺で遊べる場づくり (既存施設の活用)	早期	・地域の自然環境を利用した環境学習および自然体験の場の提供	・水辺公園エリア(志々小前)	水辺公園エリア(志々小前)を利用して、川下りや水遊び、イカダ作り、自然木による遊び場等ができる環境を整える。	

注1) 各施策については、推進段階で適宜詳細を検討していきます。

注2) 表中の赤字表示は「語る会」で出された意見、青字表示は事務局案、緑字表示はアンケート意見を示します。

【基本方針2:明るく元気で豊かなふるさとづくり】

ふるさとづくりのテーマとプロジェクトの分類	アクションプラン	実施時期(目標)	取り組み内容			備考
			目的	場所	内容	
水源地域の活性化施策						
分類：神戸川「川の駅」づくり 【目的】 地区内で生産している農林水産物をうぐいす茶屋で販売するための仕組みをつくり、地区の特産品としてのイメージを向上させることで、うぐいす茶屋の集客力を高める。	-1 青空市の活性化	早期 (1年目)	「先行アクションプラン」として整理			
	-2 憩いの場の充実	中期	・交流エリアや生活拠点エリアの活性化のための施設整備	・交流エリア(うぐいす茶屋周辺) ・生活拠点エリア(さつき会館)	うぐいす茶屋横や古宮の名木周辺の公園化の他、キャンプスペースの提供などを検討する。 また、自然木で作ったベンチ、積み木などを並べ、子供たちの興味を引く仕組みを作る。	
	-3 特産品の開発	中期	・地区の活性化	・交流エリア(うぐいす茶屋周辺) ・生活拠点エリア(さつき会館)	薬草栽培による十五茶や、堆肥を利用したエコ米の生産、手作り豆腐などを通じて、自然農法をアピールし、地区の特産品としてのイメージをつくる。 また、開発にあたっては、古くからの知恵である漬物や保存食の勉強会や、地域懇談会における試作品の評価などを行う。	
分類：地域コミュニティの強化 【目的】 地区内での親睦を深めることにより、情報の共有や連帯感の醸成に結びつける。	-1 地域懇親会の開催	早期 (1年目)	「先行アクションプラン」として整理			
	-2 七夕祭り	中期	・地域コミュニティの強化 ・世代間交流 ・地域の連帯感の醸成	・フラワーバレーエリア	広く参加を募り、竹灯籠を使った七夕祭りを開催する。	既存の取り組み内容から判断して、「分類 湖畔イベントの開催」から「分類：コミュニティの強化」へ移動。
分類：志津見湖のイメージアップ 【目的】 志津見湖のイメージアップやPRを行う。	-1 イメージキャラクターの活用	早期 (1年目)	「先行アクションプラン」として整理			
分類：自然にやさしいエコ活動 【目的】 水源地域の自然にやさしい、エコな活動を展開する。	-1 水源地域の自然にやさしいエコ活動の展開	中期	・地域資源の有効利用による地区の活性化 ・水源地域の自然に対する感謝の気持ちの醸成	・フラワーバレーエリア	自然に優しい生活の学習会を継続しつつ、竹の粉砕チップの利用、古木の再利用、イベント会場前小堰堤の落差を利用して水車を設置し、小水力発電を検討するなど、水源地域の自然にやさしいエコな活動を展開し、エコの町としてアピールする。	
地域の有する歴史文化の継承施策						
分類：伝えようふるさとの歴史と文化 【目的】 地区の歴史文化をうかがい知ることができる民具や遺跡発掘物を展示する。	-1 食文化伝承レシピの作成	早期 (1年目)	「先行アクションプラン」として整理			
	-2 遺物の展示	後期	・地域の有する歴史文化の継承 ・地域の歴史文化のPR	・ダムサイトエリア(展望広場、ダム管理支所)、さつき会館など	地区の歴史文化をうかがい知ることができる遺跡発掘物を展示する施設を整備する。 また、遺物の里帰り展示会(住民へのPRも含む)などを開催する。	
	-3 民具の展示	早期 (1年目)	「先行アクションプラン」として整理			

注1) 各施策については、推進段階で適宜詳細を検討していきます。

注2) 表中の赤字表示は「語る会」で出された意見、青字表示は事務局案、緑字表示はアンケート意見を示します。

【基本方針3：人が集まるふるさとづくり】

ふるさとづくりのテーマとプロジェクトの分類	アクションプラン	実施時期 (目標)	取り組み内容			備考	
			目的	場所	内容		
水源地域のピーアール施策							
分類：水源地域の修景 【目的】 国土交通省や県の制度を活用して、サインの設置のほか、プランターの設置や草花、花木植栽に取り組み、水源地域の明示や水源地域へのゲート演出をめざす。	-1 サインの設置による水源地域の明示	中期	・水源地域の明示	・水源地域	サインの設置によって水源地域を明示する。また、看板にストーリー性を持たせて、楽しみながら読める仕組みを作る。	他ダムサインなどを参考にしながら、国・県の支援が必要	
	-2 草花・花木植栽による水源地域へのゲートづくり	中期	・水源地域へのゲートの形成	・ダムサイトエリア ・八神エリア	案内看板の周りに花壇の整備やプランターの設置など、草花・花木の植栽によって水源地域へのゲートを演出する。		
上下流の交流施策							
分類：湖畔イベントの開催 【目的】 ポピー祭・コスモス祭だけでなくフラワーバレーの湖畔を利用した新たなイベントを企画、開催し、上下流の交流の場として水源地域の魅力をアピールするとともに、周辺施設への集客等の波及効果をねらう。	-1 ポピー祭・コスモス祭開催	早期 (1年目)			「先行アクションプラン」として整理		
	-2 フラワーバレー 野外コンサート	後期	・水源地域の魅力アピール(上下流の交流の場) ・イベントを通じた地域の活性化	・フラワーバレーエリア、ダム展望広場など	フラワーバレーやダム展望広場などを会場に、アーティストや地域の学校の吹奏楽部、地元バンドなどを招集し、野外コンサートを開催する。開催時期については、他のイベント(彩りの森ライトアップ、ポピー祭、コスモス祭等)と合同開催とするなど工夫をする。		
	-3 ナイトバザール	後期	・水源地域の魅力アピール(上下流の交流の場) ・イベントを通じた地域の活性化	・フラワーバレーエリア ・交流エリア	ホテルや星などがきれいな時期に、夜間に観察会や紅葉のライトアップの観賞などを兼ねて地元の産品などを販売する。		
	-4 志々ファンクラブ	早期 (1年目)				「先行アクションプラン」として整理	
	-5 シンボルオブジェ作り	早期	・水源地域の魅力の創出 ・イベントを通じた地域の活性化	・交流エリア	神戸川の歴史・文化(神話など)にちなんだ地域のシンボルとなるオブジェを作成・設置する。将来的には、県内の神話にゆかりのある地区に同様なオブジェを配置し、神話めぐりなどのシステムと結びつける。 また、大きなお面、竹や古着、ハダなど地域の文化を活かしたオブジェの作成や、竹を使った創作オブジェ作り大会を企画する。	地域のシンボル： 志都美徑の関所跡、五明田遺跡、森遺跡、門遺跡、負谷遺跡、坂屋遺跡、中原古墳、比丘尼塚古墳、白旗城跡、明眼寺、森脇山城跡、弓谷たたら、下山たたら、才谷たたら など	
分類：湖面イベントの開催 【目的】 フラワーバレー周辺の湖面を利用した新たなイベントを企画、開催し、上下流の交流の場として水源地域の魅力をアピールするとともに、周辺施設への集客等の波及効果をねらう。	-1 湖面巡視体験	早期 (1年目)			「先行アクションプラン」として整理		
	-2 カヌー教室	早期 (1年目)			「先行アクションプラン」として整理		
	-3 魚釣り大会	中期	・水源地域の魅力アピール(上下流の交流の場) ・イベントを通じた地域の活性化 ・周辺整備施設の活用	・フラワーバレーエリア	一般を対象として、フラワーバレー周辺においてカヌー教室を開催する。		
	-4 ラジコンボートレース大会	後期	・水源地域の魅力アピール(上下流の交流の場) ・イベントを通じた地域の活性化	・ダム湖内	志津見湖において、小堰堤への魚の放流なども検討しながら魚釣り大会を開催する。	湖面利用計画の策定が必要。(国)	
		中期	・水源地域の魅力アピール(上下流の交流の場) ・イベントを通じた地域の活性化	・ダム湖内(湛水部)	志津見湖において、ラジコンボートによるレース大会を開催する。	ダム本体からアバ(流木を捕らえる網)までは、湖面利用不可。	

注1) 各施策については、推進段階で適宜詳細を検討していきます。
 注2) 表中の赤字表示は「語る会」で出された意見、青字表示は事務局案、緑字表示はアンケート意見を示します。

ふるさとづくりのテーマとプロジェクトの分類	アクションプラン	実施時期 (目標)	取り組み内容			備考
			目的	場所	内容	
分類：志々のみどころ紹介 【目的】 水源地域の観光情報や地元住民自慢の場所から地元住民のお勧めスポットまで、地域の隠れた情報を訪れた人たちに情報提供できるマップをつくる。	-1 手作りみどころ案内板	中期	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信 ・地域資源の再確認 	・水源地域	手書きで記すなどした素朴な看板や案内板を作成することにより、地域の名所・見所などをアピールする。 マップとの整合を図りつつ実施する。	
	-2 マップ(パンフレット)づくり	早期 (1年目)	「先行アクションプラン」として整理			
	-3 フォトコンテストの開催	早期 (1年目)	「先行アクションプラン」として整理			
分類：田舎ツーリズムの展開 【目的】 地域の自然や生活、食文化などを体験してもらい、地域への理解と人々と交流を促進する。	-1 田舎体験	中期	<ul style="list-style-type: none"> ・生活体験等を通じた水源地域の魅力アピール ・広域的な交流促進 	・水源地域	地域の自然や生活、食文化などを体験してもらうプログラムをつくる。 クラインガルテンのラウベを体験用としての活用や民泊システムを検討する。	青空市やクラインガルテンとの連携も検討
分類：他地区との連携 【目的】 他地区との連携を検討する。	-1 三瓶山・石見銀山との 広域的な連携検討	中期	<ul style="list-style-type: none"> ・他地区からの立ち寄り集客 ・広域的な交流促進 	・島根県中東部	三瓶山(三瓶温泉、島根県立三瓶自然館サヒメル)や石見銀山、出雲市(佐田地区)、雲南市、尾原ダムなど、広域的に連携した観光ルートをつくり、広くPRする。	

注1) 各施策については、推進段階で適宜詳細を検討していきます。

注2) 表中の赤字表示は「語る会」で出された意見、青字表示は事務局案、緑字表示はアンケート意見を示します。

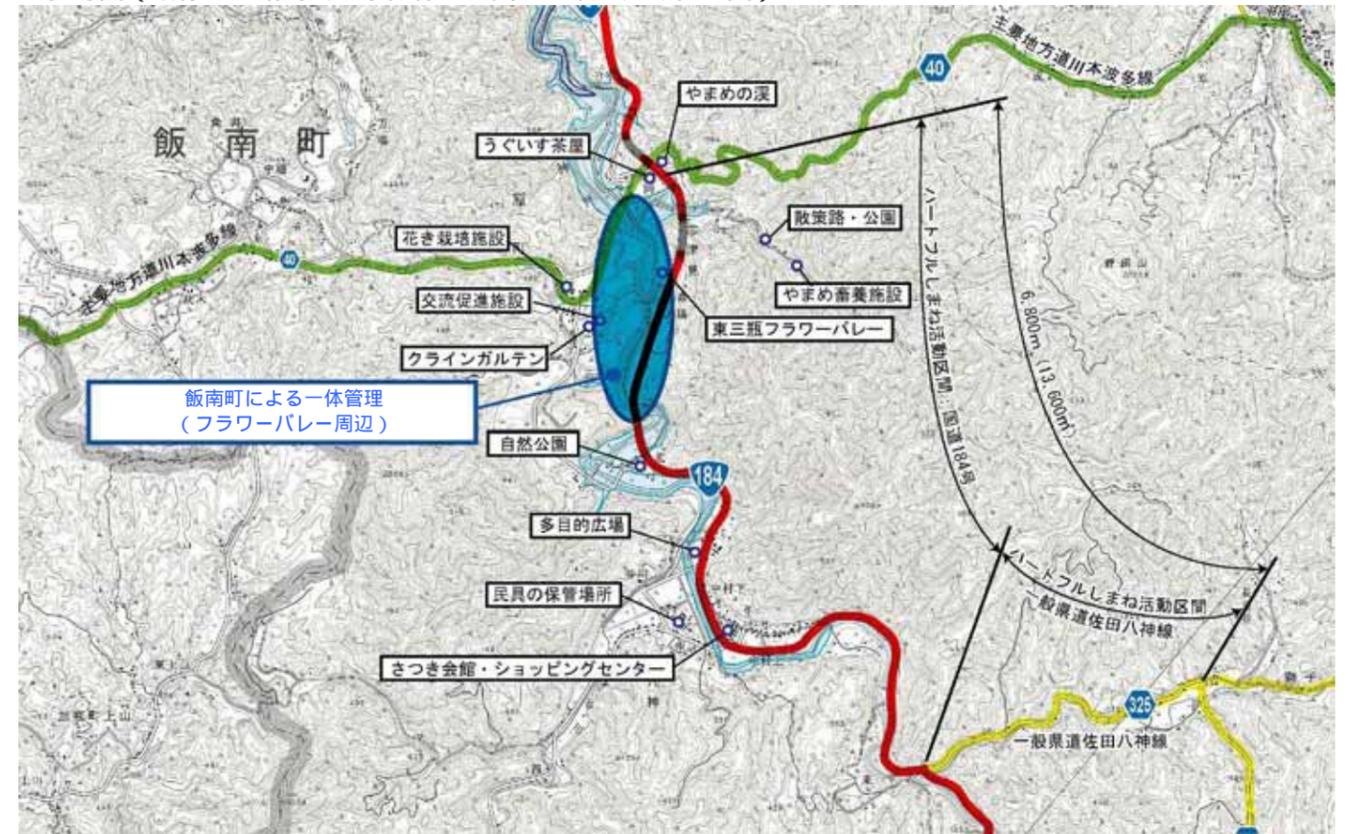
先行アクションプラン

【基本方針1:美しいふるさとづくり】

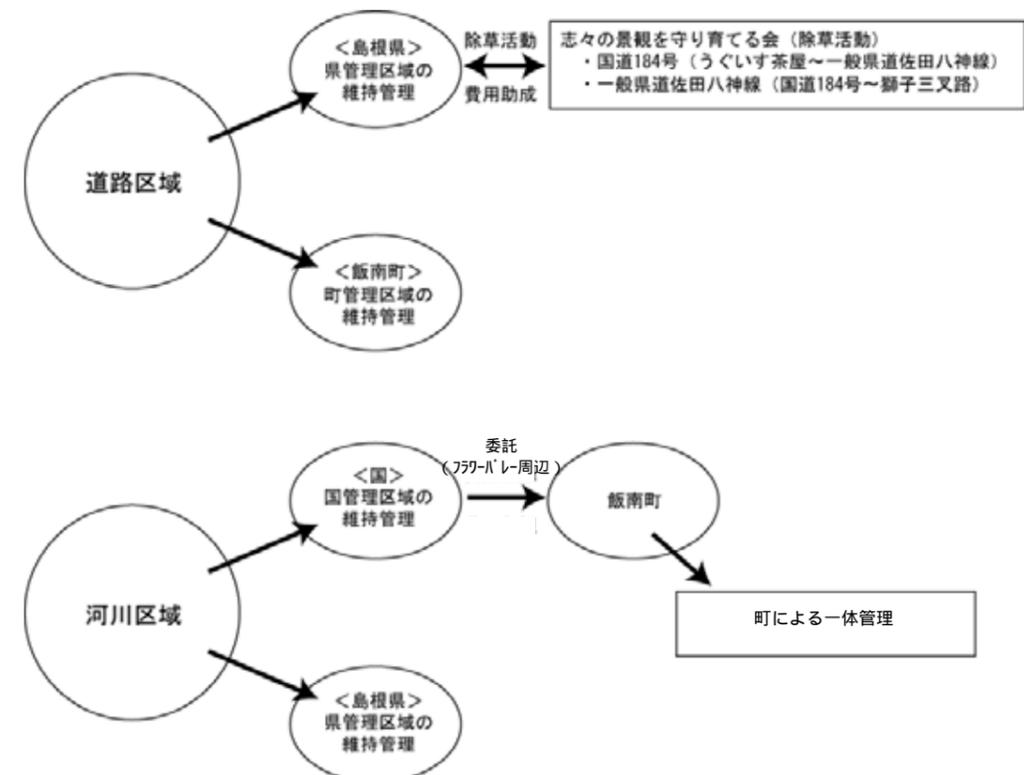
先行アクションプラン1: 河川と道路の景観保全活動 (既存)		流域住民と関係機関が協働で河川内や道路沿いの景観保全活動を行う。						
取り組み内容 (全体)	目的	<ul style="list-style-type: none"> ・水源地域の景観の保全・向上 ・清掃や除草の区域、役割分担の明確化 ・地域の連帯感の醸成 						
	場所	<ul style="list-style-type: none"> ・フラワーパーレーなどの志津見湖内 ・国道184号、県道など 						
内容	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の顔となる「生活拠点施設～うぐいす茶屋間」については、地域住民だけでなく神戸川の流域住民にも参加を募り、草刈りやゴミ拾いなどの景観保全活動を行う。(既存取り組み) ・通常の行政所管区間の維持管理について、除草等の区域、時期、頻度や役割分担を明確化する。(新規取り組み) ・草刈り道具の使用方法や、効果的な草刈りの手法を学ぶことができる草刈りの研修会(イベント的な要素も盛り込む)をあわせて開催し、神戸川の流域住民にも草刈りを体験してもらう。(新規取り組み) ・地域の自然環境や歴史文化についての情報を提供しながら清掃活動を行う『クリーンウォーク』(「志々地区の歴史と伝承を巡る会」等)を企画する。(新規取り組み) ・活動終了後は交流会を開催する。「志学地区では、桜の苗木まわりの草刈りに広島方面から人を集め、活動終了後、山菜採りやシシ汁、タラの芽やごみを使った山菜弁当で交流会を実施」(新規取り組み) <p>【参考】</p> <p><既存の取り組み内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「志々の景観を守り育てる会」による国道184号、一般県道佐田八神線沿道除草(「ハートフルしまね」として活動 年2回の除草、延長6.8km、面積13,600㎡) ・フラワーパーレーエリアの草刈り(飯南町から委託を受け(有)志都の里が実施) ・フラワーパーレーエリアの種まき(飯南町が種を購入、(有)志都の里が種まき) ・除草は河川管理者(県、国)および道路管理者(県、町)が行う <p><第2回委員会での意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道184号と主要地方道川本波多線は重点区域として草刈りを行う 						
	1年目で取り組むべき事項	<p>除草等の区域、時期、頻度や役割分担の明確化(維持管理協定の締結)</p> <p>「生活拠点施設～うぐいす茶屋間」での神戸川流域住民の参加を得た、草刈りやゴミ拾いなどの景観保全活動の実施</p>						
実施主体	地域住民、飯南町+県・国などを含めた推進機関							
実施項目と役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備考
	フラワーパーレー							国が町に委託
	維持管理協定の締結							
	種の購入							
	種まき							
	除草							
	フラワーパーレー以外							
河川区域の除草等								
道路区域の除草等								

注1: 実施主体とは、事務局的な立場で施策の推進を統括する組織。
 注2: 実施項目と役割分担の欄の 印は、施策の推進に関わる機関。なお、関わる期間および具体的内容については、推進時点で検討する。
 注3: 「地域」: 水源地域住民・団体、「流域」: 神戸川流域住民・団体、「町」: 飯南町、「県」: 島根県、「国」: 国土交通省
 注4: 表中の赤字表示は「語る会」で出された意見、青字表示は事務局案、緑字表示はアンケート意見を示す。

参考図(既存の道路河川の景観保全に関する取り組み位置図)



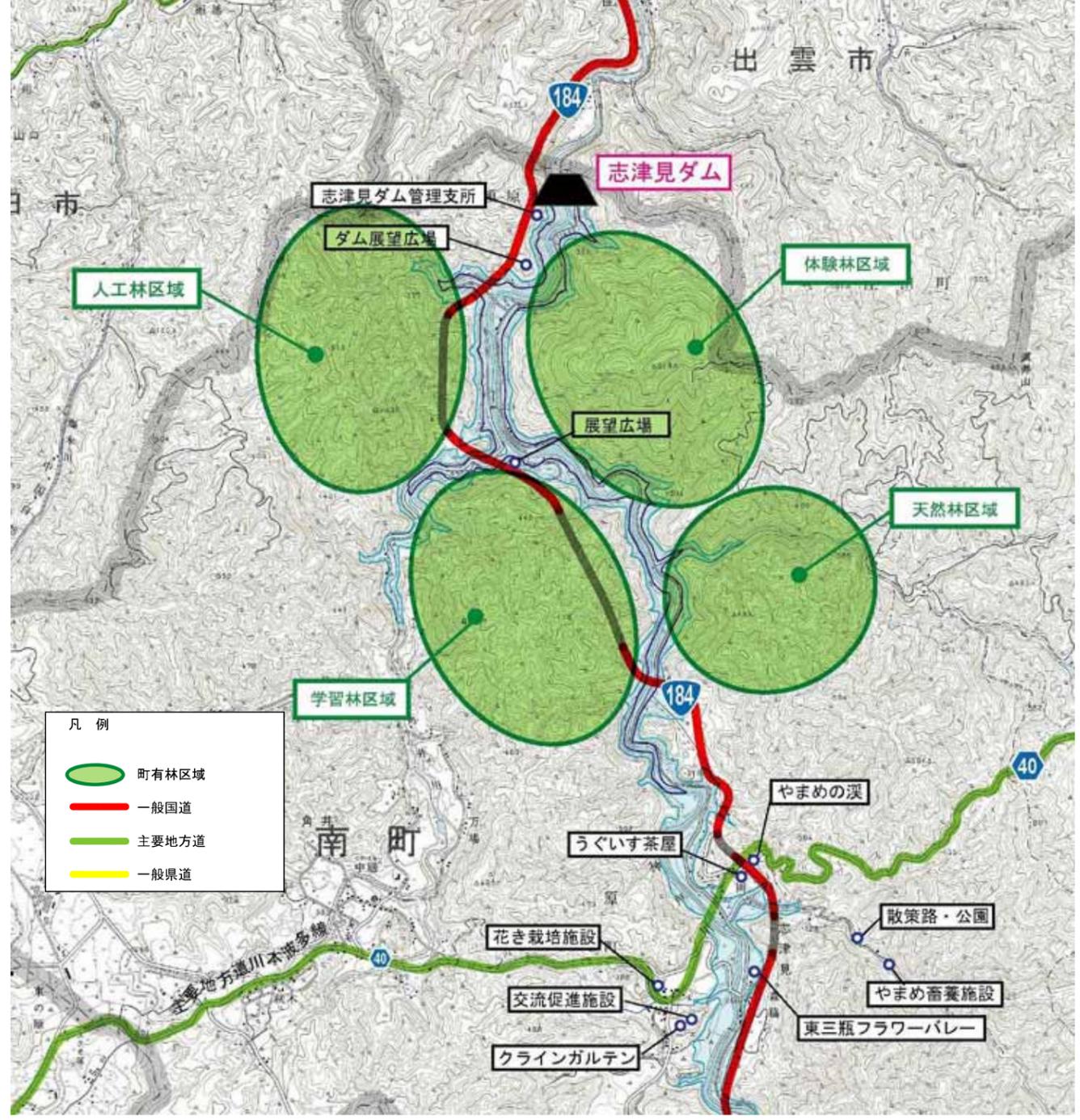
参考図(道路・河川に関する現状の維持管理状況模式図)



先行アクションプラン2：町有林による景観美化 飯南町が進める町有林の整備に際し、広葉樹・落葉樹等の植栽に取り組む。 (既存)								
取り組み内容 (全体)	目的	・水源地域の景観の保全・向上						
	場所	・国道184号沿いの町有林						
内容	内容	・町有林の整備を自然保護、景観保全の施策として捉え、広葉樹や紅葉する樹種を部分的に導入する。(既存取り組み) ・自然を体感できる林道整備や、伐採のためのチェーンソーの講習会開催なども検討する。(新規取り組み)						
	【参考】 <既存の取り組み内容>	・飯南町による町有林整備(植林整備) ・山林保全の位置づけ (人工林区域、体験林区域、天然林区域、学習林区域)						
1年目で取り組むべき事項	町有林整備の目的を明示する志々地区住民への説明会の実施(新規取り組み) 町有林整備の今後の予定と志々地区住民の整備に関する意見集約(新規取り組み)							
実施主体	地域住民、飯南町+県・国などを含めた推進機関							
実施項目と役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備考
	企画立案							
	地区住民説明会の実施							
	整備に関する意見集約							
	町有林の景観整備 取り組み後のPR							

注1：実施主体とは、事務局的な立場で施策の推進を統括する組織。
 注2：実施項目と役割分担の欄の印は、施策の推進に関わる機関。なお、関わる期間および具体的内容については、推進時点で検討する。
 注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：神戸川流域住民・団体、「町」：飯南町、「県」：鳥根県、「国」：国土交通省
 注4：表中の赤字表示は「語る会」で出された意見、青字表示は事務局案、緑字表示はアンケート意見を示す。

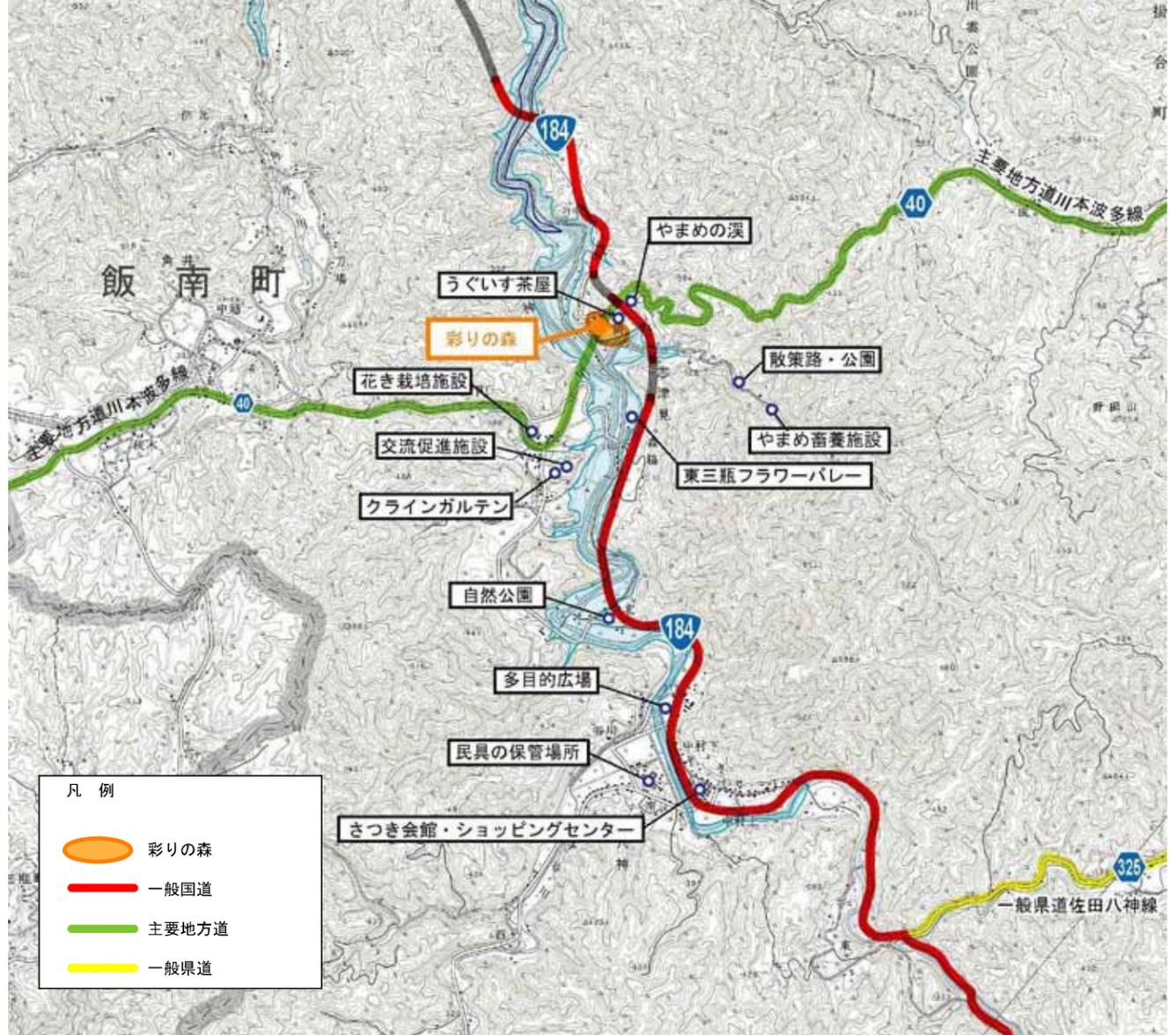
参考図(「頓原町自然環境保全事業区域平面図」から作成)



先行アクションプラン3：彩りの森の紅葉をライトアップ (新規) 既存の投光機を設置し、うぐいす茶屋周辺の彩りの森の紅葉をライトアップする。								
取り組み内容 (全体)	目的	<ul style="list-style-type: none"> ・水源地域の景観向上 ・水源地域の新たな魅力の創出 						
	場所	・彩りの森(フラワーバレー「うぐいす茶屋」周辺のみもじ植栽地区)						
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・紅葉時期に、彩りの森の紅葉をライトアップで演出する。(新規取り組み) <p>【参考】 <既存の取り組み内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・彩りの森へのもみじの植栽 ・紅葉祭りの開催(11月(有)志都の里、飯南町) ・コスモス祭(10月第2週、日曜日開催) 						
1年目で取り組むべき事項	紅葉祭りの開催にあわせたライトアップの実施(新規取り組み)							
実施主体	地域住民、飯南町+県・国などを含めた推進機関							
実施項目と役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備考
	ライトアップの企画							うぐいす茶屋夜間営業の依頼
	資機材の準備							
	投光機を設置							
	ライトアップの広報、PR							

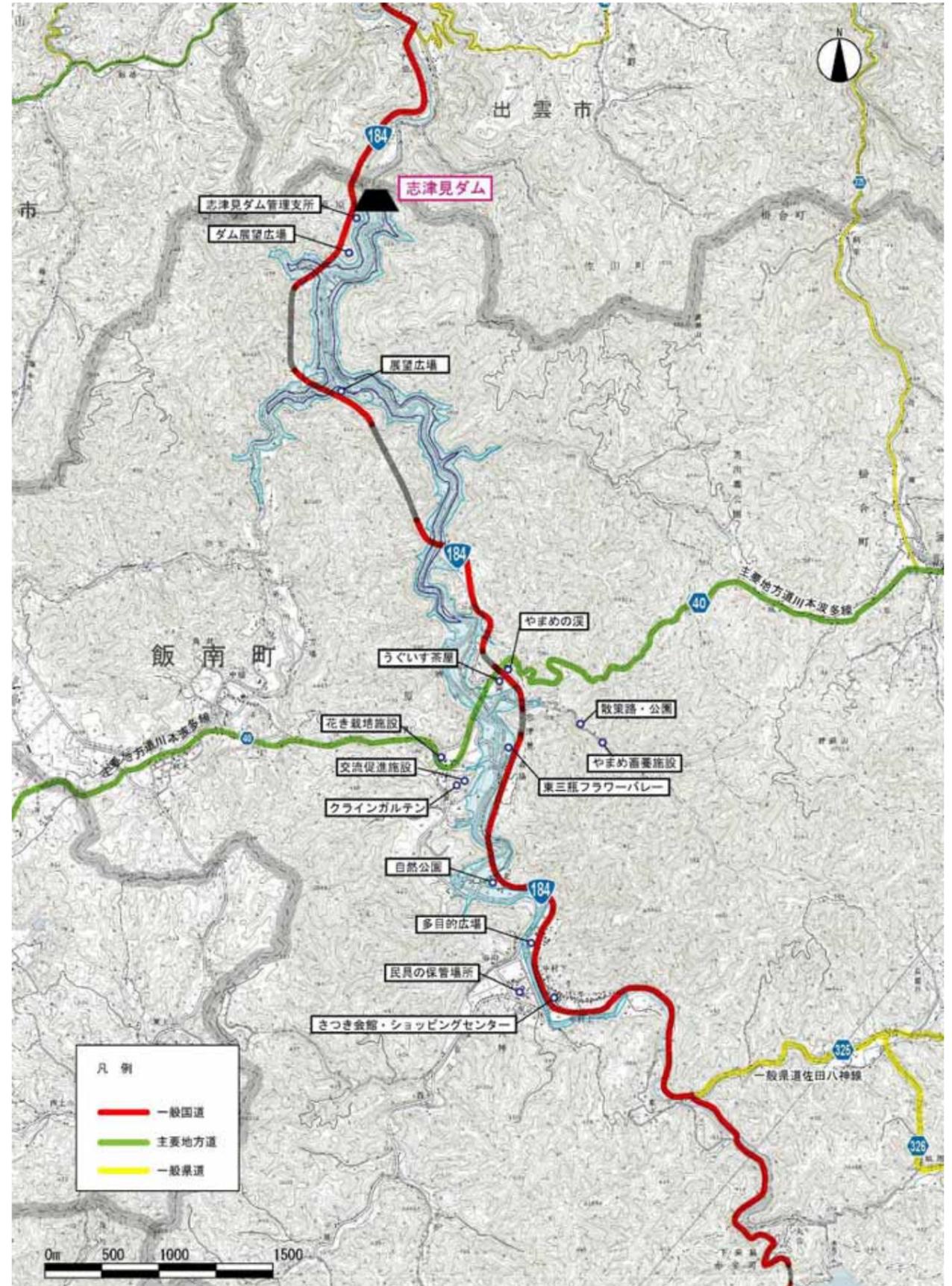
注1：実施主体とは、事務局的な立場で施策の推進を統括する組織。
 注2：実施項目と役割分担の欄の印は、施策の推進に関わる機関。なお、関わる期間および具体的内容については、推進時点で検討する。
 注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：神戸川流域住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省
 注4：表中の赤字表示は「語る会」で出された意見、青字表示は事務局案、緑字表示はアンケート意見を示す。

参考図(彩りの森位置図)



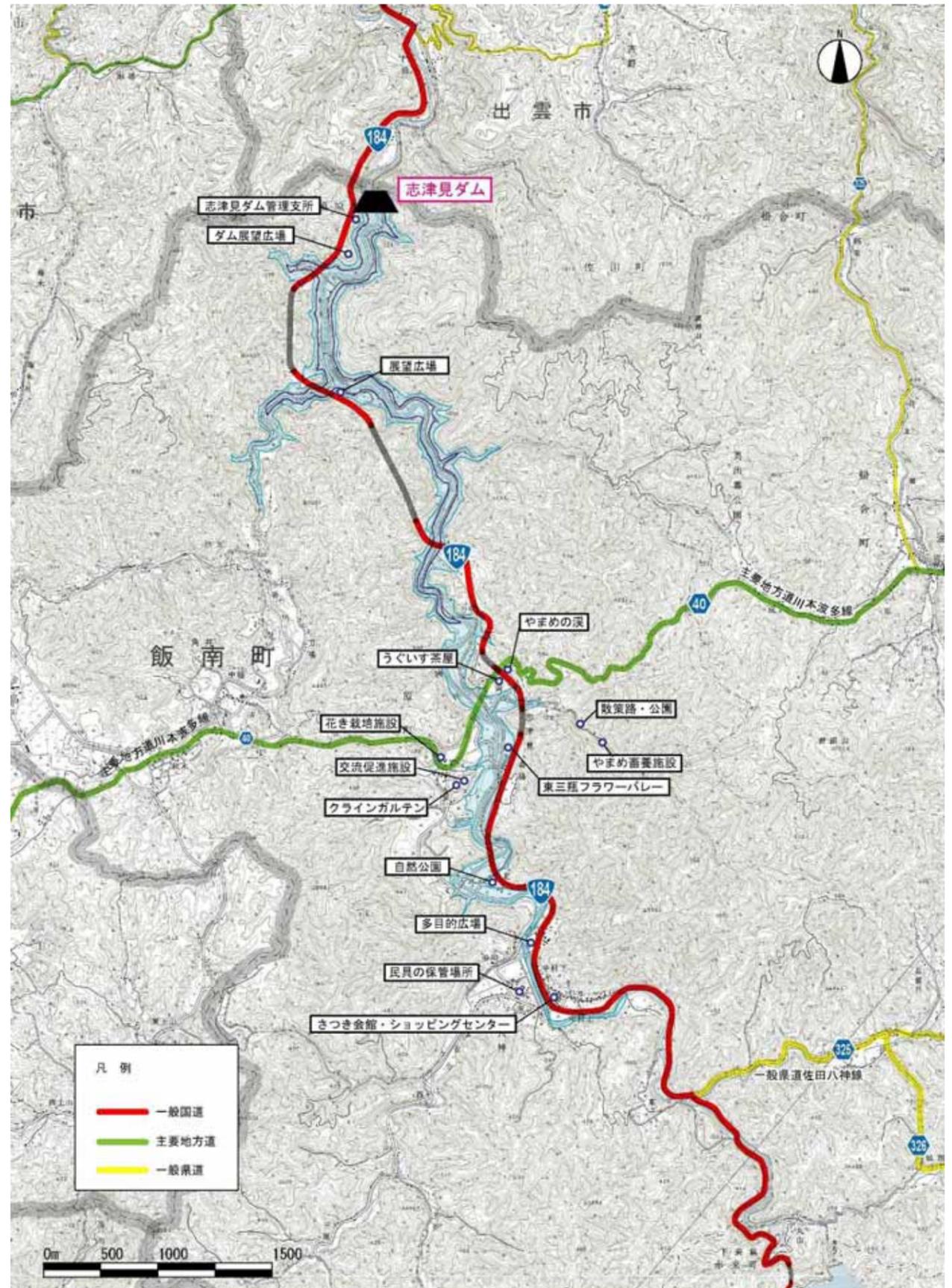
先行アクションプラン4：水生生物による簡易水質調査の実施 (既存)		神戸川流域の子供たちによる簡易水質調査を行い、調査結果を発表する場を設けることで上下流の交流をはかる。						
取り組み内容 (全体)	目的	<ul style="list-style-type: none"> ・神戸川をとりまく自然環境の再認識 ・子供たちに対する地域の自然環境を利用した環境学習の場の提供 ・周辺整備施設の活用 ・エコロジカル・ネットワークの形成 						
	場所	・神戸川流域						
取り組み内容 (全体)	内容	<p>・上下流の子供たち(小学生)が参加する『水生生物による簡易水質調査』を出前講座で実施する。(新規取り組み)</p> <p>・子供たちの調査の成果を発表する場を設けて神戸川の現状を知ってもらうとともに、上下流の交流をはかる。(新規取り組み)</p> <p>【参考】 <既存の取り組み内容> ・斐伊川・神戸川流域環境マップ(NPO法人しまね体験活動支援センター主催) 斐伊川・神戸川流域の児童、生徒による川の環境マップづくり (神戸川での取り組み状況) 2011 秋 上下流の6小学校が参加(八神地区で志々小学校が調査) 参加小学校 飯南町八神：志々小学校 3、4年生 出雲市所原町：朝山小学校 3、4年生 馬木大橋付近：神戸川小学校4年生(下流) 馬木大橋付近：赤名小学校、来島小学校4年生合同調査(下流) 塩治町：塩治小学校4年生(下流) 第5回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会(2011.11.23) 参加：出雲市立上津小学校、飯南町立赤名小学校、奥出雲町立高尾小学校、古志青少年育成協議会</p>						
	1年目で取り組むべき事項	出前講座による簡易水質調査の実施(新規取り組み)						
実施主体	地域住民、飯南町+県・国などを含めた推進機関							
実施項目と役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備考
	出前講座の検討							
	参加小学校の検討							
	教育庁との連携							
	結果発表会の企画							
調査の広報、PR								既存調査結果のわかりやすい表現での公表
斐伊川・神戸川流域環境マップづくりとの連携								

注1：実施主体とは、事務局的な立場で施策の推進を統括する組織。
 注2：実施項目と役割分担の欄の印は、施策の推進に関わる機関。なお、関わる期間および具体的内容については、推進時点で検討する。
 注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：神戸川流域住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省
 注4：表中の赤字表示は「語る会」で出された意見、青字表示は事務局案、緑字表示はアンケート意見を示す。



先行アクションプラン5：自然観察会 (新規) 志々小学校で実施しているような自然観察会を、水源地域内で実施する。																																																	
取り組み内容 (全体)	目的 ・神戸川をとりまく自然環境の再認識 ・子供たちに対する地域の自然環境を利用した環境学習 ・エコロジカル・ネットワークの形成																																																
	場所 ・神戸川流域																																																
内容	・国土交通省の出前講座を屋外で行い、実際の環境にふれてもらう。(新規取り組み) ・地元の小中学生等を対象とした食べられる植物観察会を実施する。植物観察から採取、調理、食事まで一体として実施。(新規取り組み)																																																
1年目で取り組むべき事項	ダムや神戸川の自然をテーマにした出前講座の実施 食べられる植物観察会の実施																																																
実施主体	地域住民、飯南町+県・国などを含めた推進機関																																																
実施項目と役割分担	<table border="1"> <thead> <tr> <th>実施項目</th> <th>地域</th> <th>流域</th> <th>町</th> <th>県</th> <th>国</th> <th>必要な支援内容</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出前講座の実施</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>自然観察会の実施</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>機材の準備提供</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>現地解説、指導</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>例)モニタリング委員会で協力を得ている専門家やサヒメルの専門家等の派遣</td> </tr> <tr> <td>観察会の広報、PR</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備考	出前講座の実施								自然観察会の実施								機材の準備提供								現地解説、指導							例)モニタリング委員会で協力を得ている専門家やサヒメルの専門家等の派遣	観察会の広報、PR							
	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備考																																									
	出前講座の実施																																																
	自然観察会の実施																																																
	機材の準備提供																																																
	現地解説、指導							例)モニタリング委員会で協力を得ている専門家やサヒメルの専門家等の派遣																																									
観察会の広報、PR																																																	

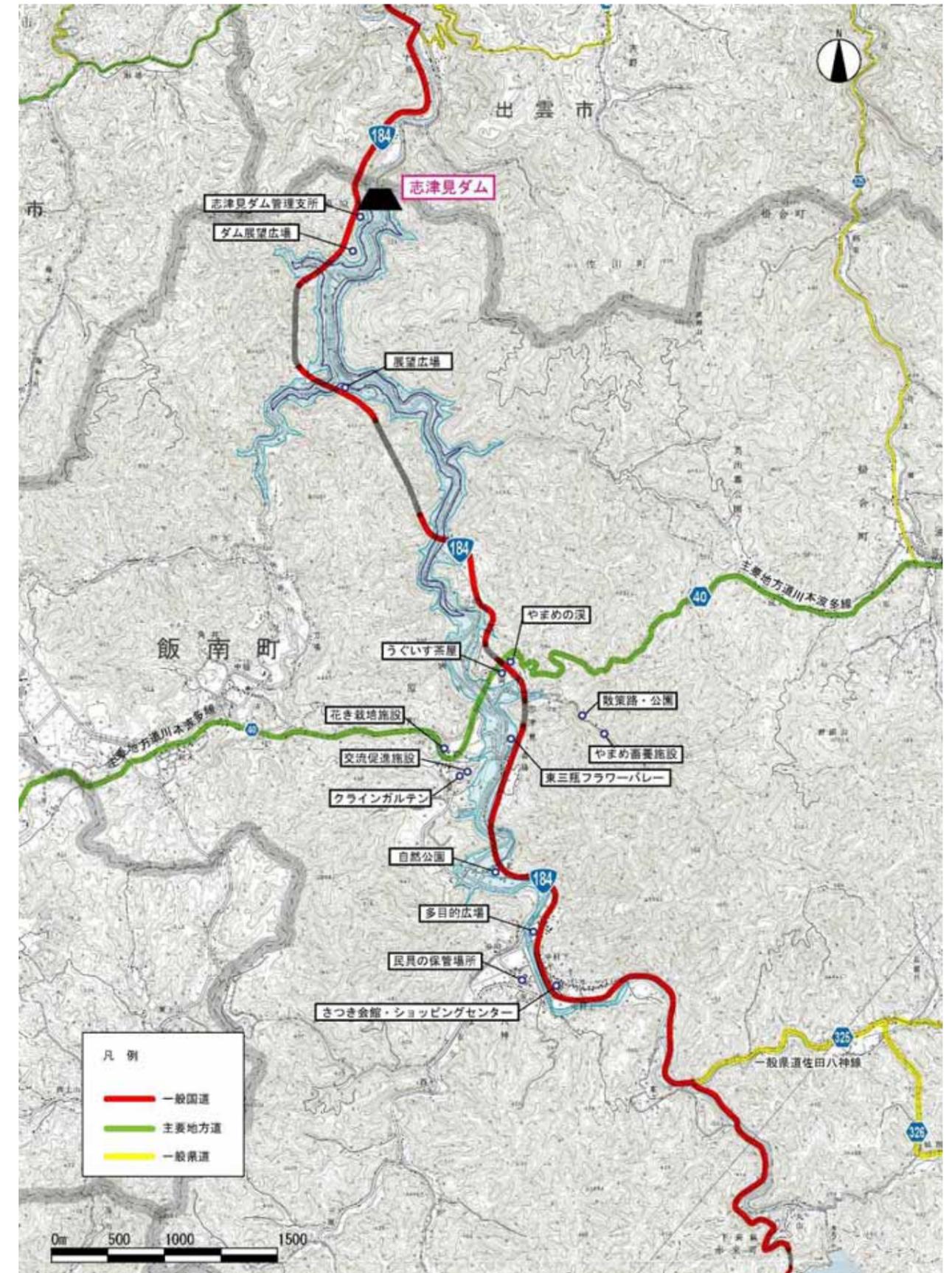
注1：実施主体とは、事務局的な立場で施策の推進を統括する組織。
 注2：実施項目と役割分担の欄の 印は、施策の推進に関わる機関。なお、関わる期間および具体的内容については、推進時点で検討する。
 注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：神戸川流域住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省
 注4：表中の赤字表示は「語る会」で出された意見、青字表示は事務局案、緑字表示はアンケート意見を示す。



【基本方針2：明るく元気で豊かなふるさとづくり】

先行アクションプラン6：青空市の活性化 (既存) 地区内の農林水産物をうぐいす茶屋などで「青空市」として販売するための仕組みをつくり、うぐいす茶屋の集客力を高める。					
取り組み内容 (全体)	目的	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点施設としてのうぐいす茶屋の活性化 ・地区の活性化と特産品の発掘 			
	場所	<ul style="list-style-type: none"> ・交流エリア(うぐいす茶屋周辺) 			
取り組み内容 (全体)	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地区内で生産している野菜や果物、米、きのこ、やまめなどの農林水産物をうぐいす茶屋で「青空市」として販売するための仕組みをつくる。(新規取り組み) ・自然農法をアピールし、地区の特産品としてのイメージをつくる。移動販売によってアピールしていくことも検討する。(新規取り組み) <p>【参考】 <既存の取り組み内容> ・青空市の開催 ・水源地域アドバイザーによるワークショップの開催</p>			
	1年目で取り組むべき事項	生産から販売までの仕組みづくり(新規取り組み)			
実施主体	地域住民、飯南町+県・国などを含めた推進機関				
実施項目と役割分担	実施項目	地域 流域 町 県 国	必要な支援内容	備考	
	生産から販売までの仕組みづくり				事例研修や勉強会、会場の魅力向上も含む
	生産者の現状把握				
	出品する農産物の選択				
	農産物集荷方法の検討				農産物の各戸集荷が高齢者のみまもりにもつながる
	集客方法の検討 資金の調達手法の検討				

注1：実施主体とは、事務局的な立場で施策の推進を統括する組織。
 注2：実施項目と役割分担の欄の 印は、施策の推進に関わる機関。なお、関わる期間および具体的内容については、推進時点で検討する。
 注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：神戸川流域住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省
 注4：表中の赤字表示は「語る会」で出された意見、青字表示は事務局案、緑字表示はアンケート意見を示す。



先行アクションプラン7：地域懇親会の開催
(新規)
地域の人々が集う場を定期的に設定し、地域に関する情報交換や意見交換を行う。

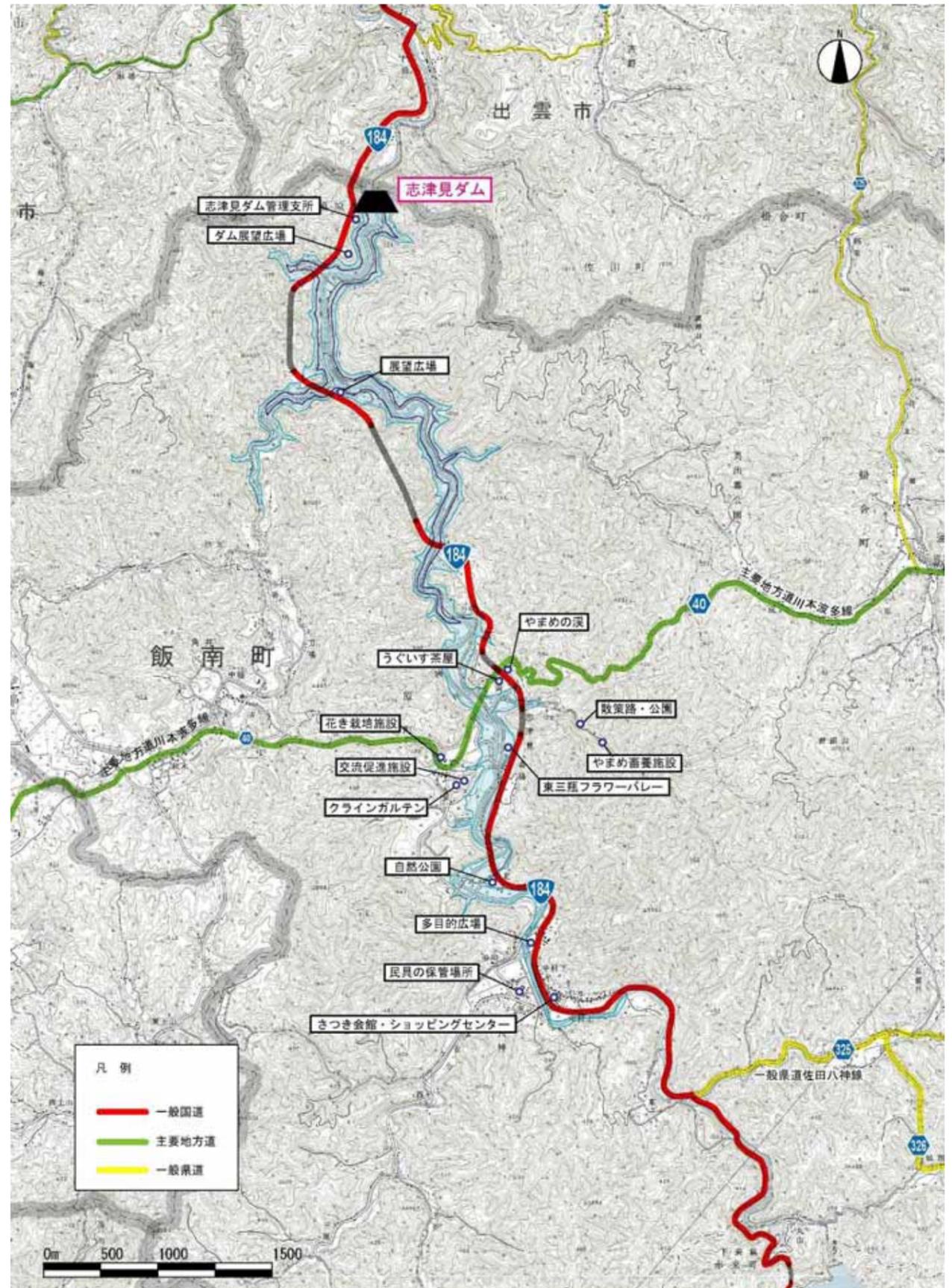
目的	<ul style="list-style-type: none"> 志津見ダム水源地域ビジョンの推進に関する意見交換 地域コミュニティの強化 世代間交流 情報の共有と連帯感の醸成
	<p>場所</p> <ul style="list-style-type: none"> 八神エリア(志々公民館)、交流エリア(うぐいす茶屋)、ダムサイトエリア(ダム展望広場)
取り組み内容(全体)	<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 若者、壮年期を中心に自治区、公民館と協力して、イベントの実施にからめた開催を検討。(新規取り組み) 以下の施策の具体化を意見交換テーマとしてとりあげて活動を始める。(新規取り組み) <p><意見交換テーマ></p> <p>「山の恵みの学習」について 山の知識が豊富な方の協力を得て、春に流域住民の参加も募り山林の保全活動を行うとともに、山菜の生育条件や採り方、料理の仕方などを学ぶ。 また、自然観察会や家庭の味まつりなどのタイアップも検討する。</p> <p>「イメージキャラクターの活用」 既存のイメージキャラクターの活用(着ぐるみの作成など)や子供たちへのアイデア募集などにより親しみやすい志津見湖のイメージを作る。</p> <p>「マップ(パンフレット)づくり」について 水源地域の観光情報や地元住民の自慢の場所からお勧めスポット、地域および連携地域のイベントカレンダーまで、地域の隠れた情報を訪れた人たちに情報提供できるマップをつくる。フォトポイント、見所もあわせて紹介する。</p> <p>【参考】 <既存の取り組み内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 志津見ダムのキャラクター くにびきくん ポピー祭のキャラクター コスモス祭のキャラクター 飯南町のキャラクター いいにゃん 志都の里 湖畔散策マップ

1年目で取り組むべき事項
意見交換テーマの設定(新規取り組み)
テーマについての意見交換(新規取り組み)

実施主体
地域住民、飯南町+県・国などを含めた推進機関

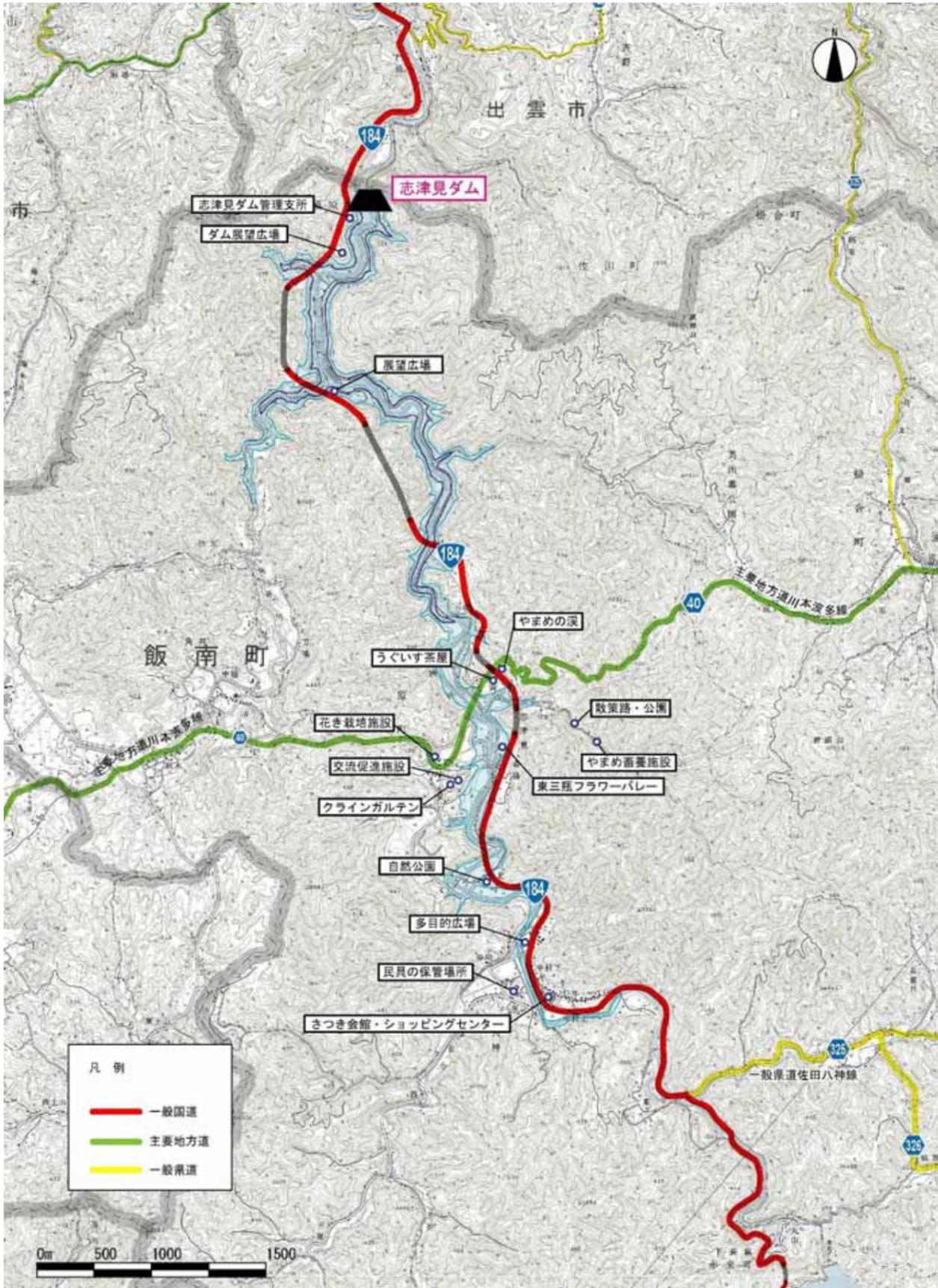
実施項目と役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備考
		意見交換テーマの設定						
	意見交換と意見集約							
	会場提供							

注1：実施主体とは、事務局的な立場で施策の推進を統括する組織。
注2：実施項目と役割分担の欄の印は、施策の推進に関わる機関。なお、関わる期間および具体的内容については、推進時点で検討する。
注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：神戸川流域住民・団体、「町」：飯南町、「県」：鳥根県、「国」：国土交通省
注4：表中の赤字表示は「語る会」で出された意見、青字表示は事務局案、緑字表示はアンケート意見を示す。



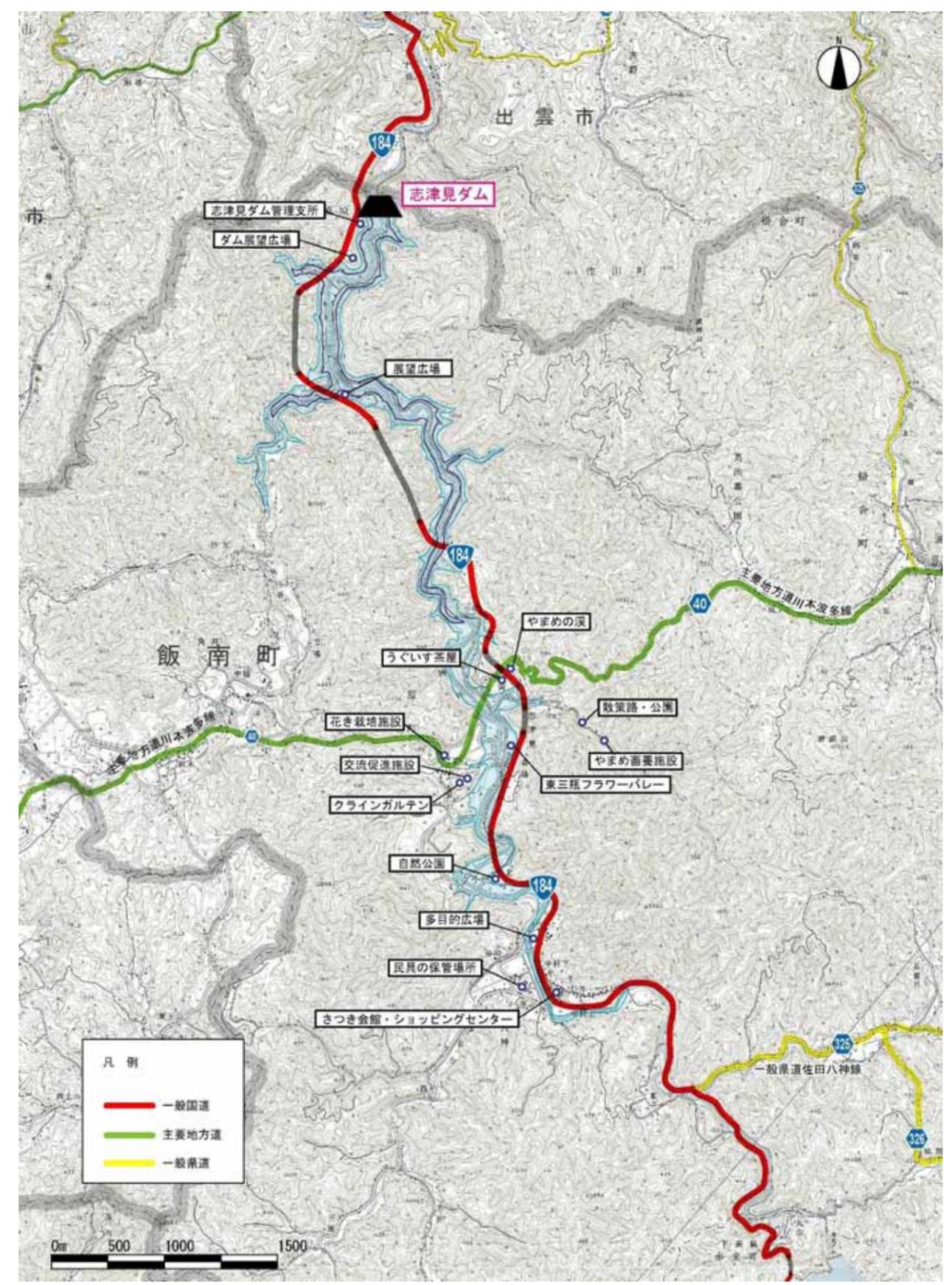
先行アクションプラン8：食文化伝承レシピの作成 (新規)		“食文化伝承”レシピをつくり、地域の人々に伝承する。						
取り組み内容 (全体)	目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地域文化の伝承 ・地域の食文化のPR ・拠点施設としてのうぐいす茶屋の活性化 ・地区の活性化と特産品の発掘 						
	場所	<ul style="list-style-type: none"> ・志々公民館、うぐいす茶屋 						
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地区の食材を使った地元の“食文化伝承”レシピをつくる。(新規取り組み) ・うぐいす茶屋でのメニュー化検討。(新規取り組み) ・レシピに基づく料理教室の開催。(新規取り組み) <p>【参考】 <既存の取り組み内容> ・長寿社会づくりソフト事業交付金(特定事業) 申請中(地域社会振興財団) ・志々公民館で活動中 「家庭の味まつり」の開催、これまでの活動内容をまとめ、地域振興に活用できる写真集の発行</p>						
1年目で取り組むべき事項	助成金申請(新規取り組み) 家庭の味まつりの開催及びレシピ集の作成(既存取り組み)							
実施主体	地域住民、飯南町+県・国などを含めた推進機関							
実施項目と役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備考
	助成申請							
	家庭の味まつりの開催							
	レシピ・写真の整理							
	レシピのPR							
	写真集の発行							
	写真集のPR							

注1：実施主体とは、事務局的な立場で施策の推進を統括する組織。
 注2：実施項目と役割分担の欄の印は、施策の推進に関わる機関。なお、関わる期間および具体的内容については、推進時点で検討する。
 注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：神戸川流域住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省
 注4：表中の赤字表示は「語る会」で出された意見、青字表示は事務局案、緑字表示はアンケート意見を示す。



先行アクションプラン9：民具の展示 (新規)		地区の歴史文化や民俗をうかがい知ることができる民具を既存施設(うぐいす茶屋等)やイベント時に展示する。						
取り組み内容 (全体)	目的	<ul style="list-style-type: none"> 地域の有する歴史文化の継承 地域の歴史文化のPR 						
	場所	<ul style="list-style-type: none"> 交流エリア(うぐいす茶屋)、フラワーバレーエリア、志津見ダム管理支所、さつき会館など 						
取り組み内容 (全体)	内容	<ul style="list-style-type: none"> 保管されている民具の一部をうぐいす茶屋や青空市のディスプレイに活用する。(新規取り組み) さつき会館や志津見ダム管理支所等もテーマを設定するなど展示を検討する。 ポピー祭、コスモス祭、志々公民館まつりなどのイベント時にも会場に展示スペースを設けて民具が見学できるようにする。(新規取り組み) 						
	1年目で取り組むべき事項	<ul style="list-style-type: none"> うぐいす茶屋等での常設展示(新規取り組み) ポピー祭、コスモス祭のイベント開催時の展示(新規取り組み) 						
実施主体	地域住民、飯南町+県・国などを含めた推進機関							
実施項目と役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備考
	うぐいす茶屋等 常設展示							
	常設展示の企画							うぐいす茶屋等との調整
	民具の搬入・設置							
	イベント開催時の展示							
	イベント展示の企画							
	民具の搬入・設置・撤去							
民具の管理								
民具の展示のPR								

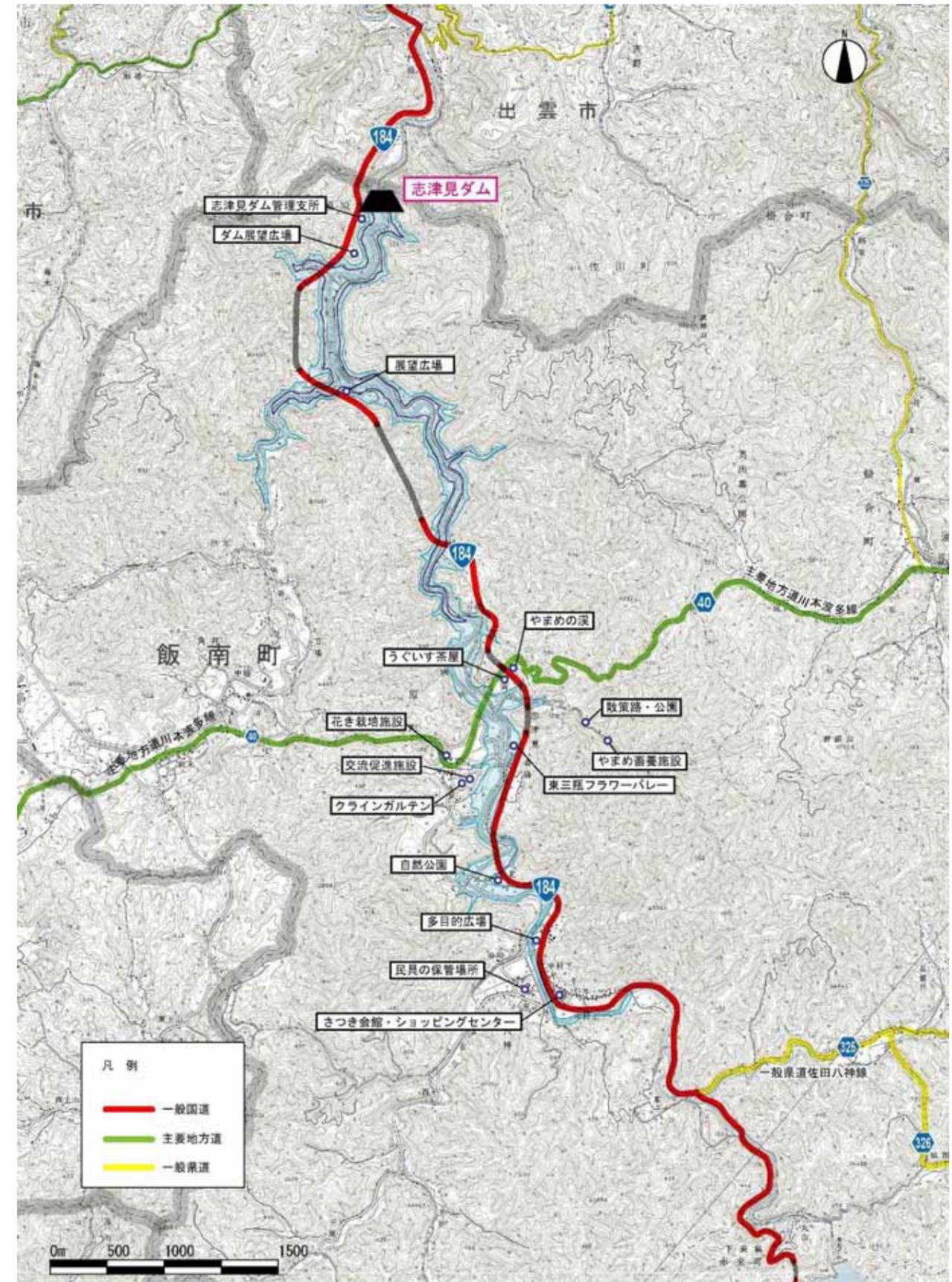
注1：実施主体とは、事務局的な立場で施策の推進を統括する組織。
注2：実施項目と役割分担の欄の印は、施策の推進に関わる機関。なお、関わる期間および具体的内容については、推進時点で検討する。
注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：神戸川流域住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省
注4：表中の赤字表示は「語る会」で出された意見、青字表示は事務局案、緑字表示はアンケート意見を示す。



【基本方針3：人が集まるふるさとづくり】

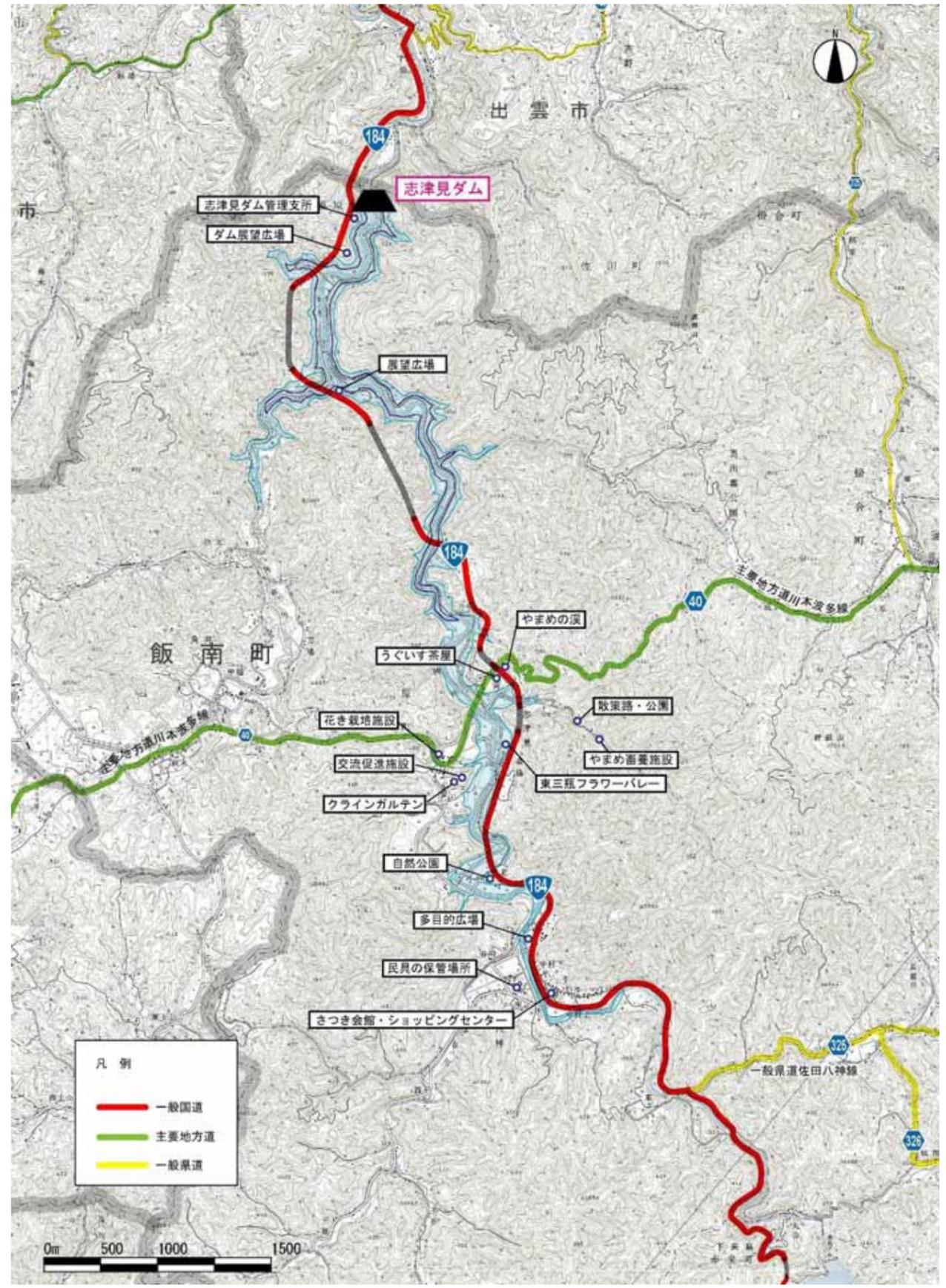
先行アクションプラン10：ポピー祭・コスモス祭開催 (既存) これまでに開催しているポピー祭、コスモス祭を継続して開催する。								
取り組み内容 (全体)	目的	・水源地域の魅力アピール(上下流の交流の場) ・イベントを通じた地域の活性化						
	場所	・ フラワーバレーエリア						
	内容	・ ポピー祭、コスモス祭の開催。(既存取り組み) ・ イベント開催時には、巡視船を活用して湖面から水源地域の眺望を楽しむ『湖面巡視体験』(新規取り組み)や、ダム見学、発電所見学(既存取り組み)などを実施する。 【参考】 <既存の取り組み内容> ・ポピー祭、コスモス祭 ・イベントにあわせたフォトコンテスト ・志津見ダム見学会 ・発電所見学会						
1年目で取り組むべき事項	ダム湖巡視船による湖面巡視体験(新規取り組み) ダム見学会(既存取り組み) 発電所見学会(既存取り組み) 治水40年イベント(新規取り組み) 志津見ダム水源地域ビジョンのPR(新規取り組み)							
実施主体	地域住民、飯南町+県・国などを含めた推進機関							
実施項目と役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備考
	湖面巡視体験の実施							
	ダム見学会の実施							
	発電所見学会の実施							
	治水40年イベントの実施							パネル、模型の展示
	イベントの広報・PR ビジョンのPR							パネル展示

注1：実施主体とは、事務局的な立場で施策の推進を統括する組織。
 注2：実施項目と役割分担の欄の 印は、施策の推進に関わる機関。なお、関わる期間および具体的内容については、推進時点で検討する。
 注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：神戸川流域住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省
 注4：表中の**赤字表示**は「語る会」で出された意見、**青字表示**は事務局案、**緑字表示**はアンケート意見を示す。



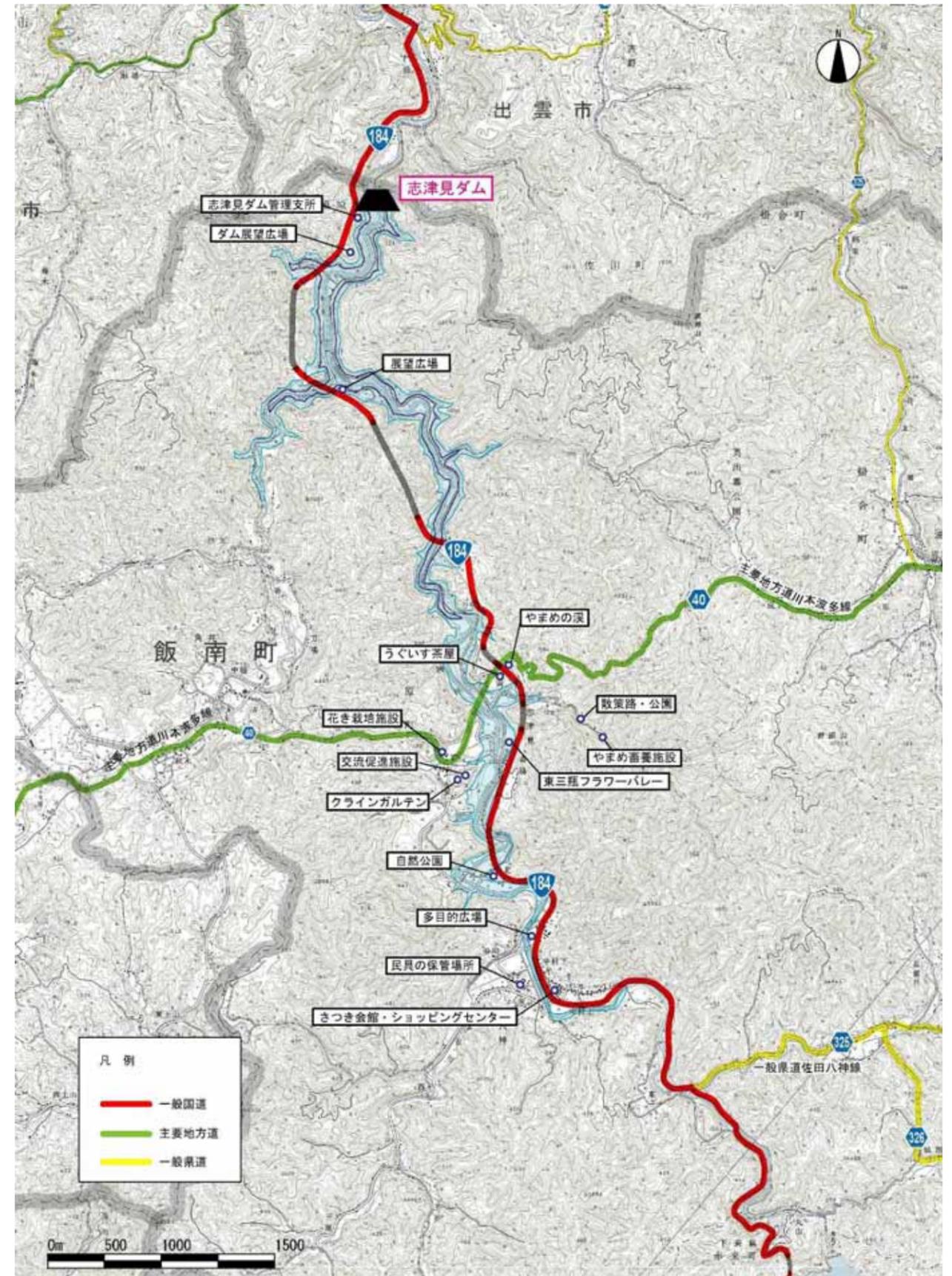
先行アクションプラン 11：志々ファンクラブ（仮称） （新規）		クラインガルテンの会員 OB などを中心にファンクラブを結成し、情報提供や地元産品の販売などネットワークを構築する。						
取り組み内容 （全体）	目的	<ul style="list-style-type: none"> ・水源地域の魅力アピール（上下流の交流の場） ・イベントを通じた地域の活性化 						
	場所	・水源地域（志々地区）						
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・クラインガルテンの会員 OB などを中心にファンクラブを結成する。（新規取り組み） ・情報提供や地元産品の販売などネットワークを構築する。（新規取り組み） ・ファンクラブの会員については、段階的に広域に広げていく。（新規取り組み） ・他のファンクラブとの連携も検討する。（新規取り組み） <p>【参考】 <既存の取り組み内容> なし</p>						
1年目で取り組むべき事項	飯南町に関心を持っている方の名簿を収集（ポピー祭やコスモス祭などのイベント時に、趣旨を説明して名前と住所を書いてもらい、後日抽選で賞品を送るなど）							
実施主体	地域住民、飯南町+県・国などを含めた推進機関							
実施項目と役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備考
	志々ファンクラブの企画							
	志々ファンクラブの結成							
	ネットワークの構築							
	名簿の収集							
	志々ファンクラブのPR							

注1：実施主体とは、事務局的な立場で施策の推進を統括する組織。
 注2：実施項目と役割分担の欄の 印は、施策の推進に関わる機関。なお、関わる期間および具体的内容については、推進時点で検討する。
 注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：神戸川流域住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省
 注4：表中の赤字表示は「語る会」で出された意見、青字表示は事務局案、緑字表示はアンケート意見を示す。



先行アクションプラン 12：カヌー教室 (新規) これまでに PTA 等を対象に実施したカヌー教室を新たに開催する。								
取り組み内容 (全体)	目的	<ul style="list-style-type: none"> ・水源地域の魅力アピール(上下流の交流の場) ・イベントを通じた地域の活性化 ・周辺整備施設の活用 						
	場所	・フラワーパーレーエリア						
内容	内容	・PTA 等を対象に実施したカヌー教室を、フラワーパーレーエリアで新たに開催する。(新規取り組み) 【参考】 <既存の取り組み内容> ・H17～18年の2年ほど、志々小学校PTAを対象にプールで実施 ・美郷町カヌーの里との連携検討						
	1年目で取り組むべき事項	場所の検討を含めた企画・立案						
実施主体	地域住民、飯南町+県・国などを含めた推進機関							
実施項目と役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備考
	カヌー教室の企画							
	カヌー教室の講師選定							
	資機材調達							

注1：実施主体とは、事務局的な立場で施策の推進を統括する組織。
 注2：実施項目と役割分担の欄の印は、施策の推進に関わる機関。なお、関わる期間および具体的内容については、推進時点で検討する。
 注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：神戸川流域住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省
 注4：表中の赤字表示は「語る会」で出された意見、青字表示は事務局案、緑字表示はアンケート意見を示す。



先行アクションプラン13：フォトコンテストの開催
 (既存) ポピー祭、コスモス祭で実施しているフォトコンテストに志々地区の見どころをテーマにした内容追加を検討する。

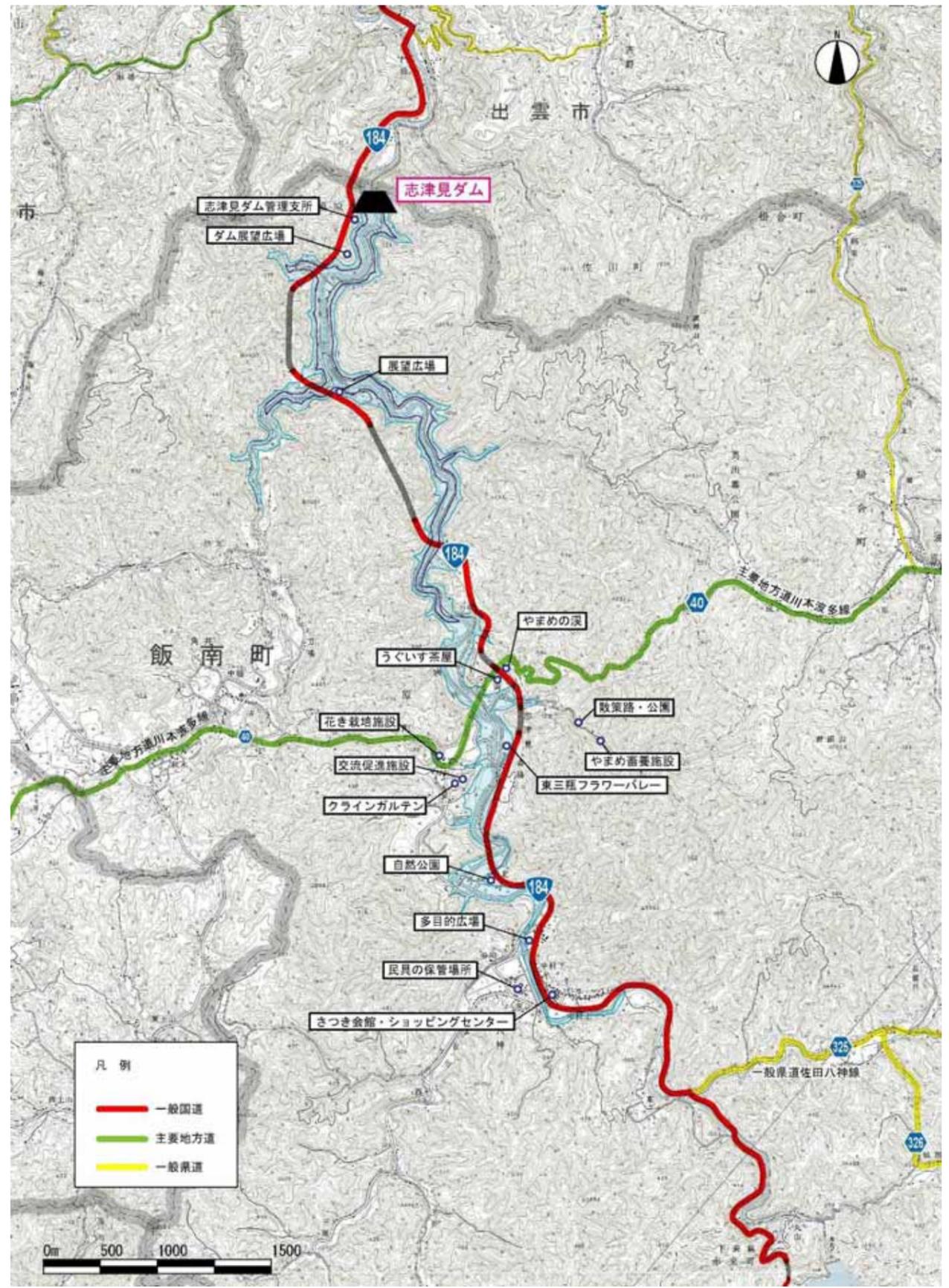
取り組み内容 (全体)	目的	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信 ・地域資源の再確認
	場所	<ul style="list-style-type: none"> ・水源地域(志々地区)
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地区の見どころをテーマとしたフォトコンテストを開催する。 <p>【参考】 <既存の取り組み内容> ・景観フォトコンテスト ・イベントにあわせたフォトコンテスト ・いーなんの雪携帯フォトコンテスト</p>

1年目で取り組むべき事項
 ポピー祭、コスモス祭のフォトコンテストに、志々地区の見どころをテーマにした内容を追加

実施主体
 地域住民、飯南町+県・国などを含めた推進機関

実施項目と役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備考
		コンテストの企画						
	コンテストの実施							
	コンテストの広報・PR							
	作品審査							
	賞品準備							賞品として、地域の特産品、1日管理支所長、巡視船乗船優待などを検討

注1：実施主体とは、事務局的な立場で施策の推進を統括する組織。
 注2：実施項目と役割分担の欄の印は、施策の推進に関わる機関。なお、関わる期間および具体的内容については、推進時点で検討する。
 注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：神戸川流域住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省
 注4：表中の赤字表示は「語る会」で出された意見、青字表示は事務局案、緑字表示はアンケート意見を示す。



4. 志津見ダム水源地域ビジョン（素案）について

(1) ビジョンの表紙（サブタイトル・写真）

ビジョンの表紙に掲載するサブタイトル及び写真について、事務局案をベースにアンケートにて意見募集を行い、第4回語る会で選定作業を実施し、サブタイトル（2案）と表紙のコンセプト（4案）を選定した。サブタイトルについては、語る会での決選投票結果と委員意見を確認して最終案を選定。表紙写真については、コンセプトに基づく表紙案を事務局で作成し、再度アンケートにより最終案を選定した。

ビジョンのサブタイトル

【サブタイトル（案）と投票結果】（語る会：17名）

〔事務局案〕 みんなでつくる みんなのふるさと 笑顔あふれる しあわせの里 （1票）

【理由】地域の目標像をそのままサブタイトルとしました。

〔事務局案〕 「美」しく「明」るいみんなが「集」うふるさと 志津見湖づくり （3票）

美しく、明るい、みんなが集う、ふるさと志津見ダム湖づくり <代替え案>

【理由】三つの基本方針に含まれる感じを並べてつくりました。

〔新案〕 彩りと笑顔あふれるいにしへの里 志々 （4票）

【理由】彩り：自然豊かな志津見湖をイメージ。

笑顔：地域の目標像を二文字で端的に表現。

いにしへの里：歴史と文化をイメージ。地域住民には歴史文化に対する誇りと伝承の意識を強く持たせ、来訪者には今流行のパワースポットのような感覚を持たせる。

志々：志々を入れることにより、志々全体が水源地域という認識を持たせる。それによって志々の住民全体で志津見ダムを活用して、地域の活性化を図る気運が高まる。

〔新案〕 自然ゆたかで笑顔あふれる里 （2票）

〔新案〕 笑顔と活気あふれる しあわせの里 ～志津見湖～ （4票）

【理由】地域の目標像の「笑顔あふれる しあわせの里」というフレーズを基に、簡単でわかりやすい表現がよいと思った。「笑顔」があるということは「活気」があることであり、「笑顔」と「活気」が結びついて「しあわせ」に繋がると考え、シンプルなフレーズに整えた。

〔新案〕 志都美の徑^{みち} （3票）

【理由】出雲風土記に登場するように、古代より豊かな自然と豊富な山の幸、川の幸に恵まれ、心温まる風土の中での暮らしを取り戻す

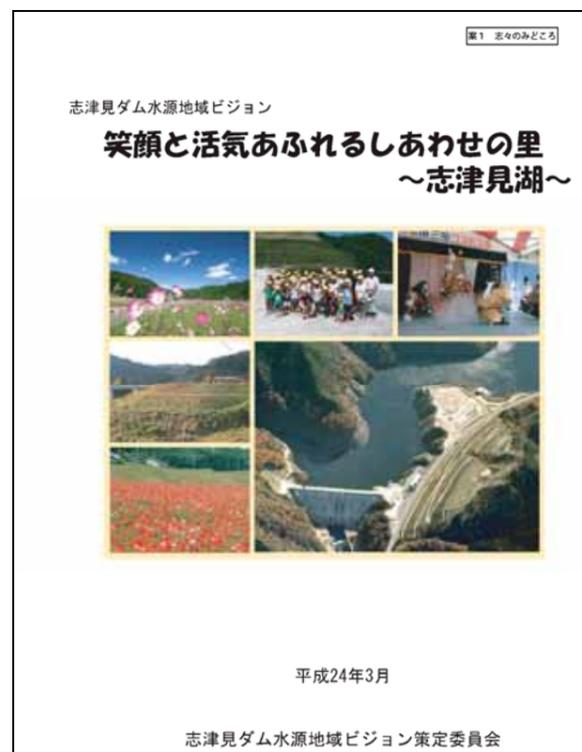
・大字志津見から八神を経て赤来町に至り備後国に至る街道であった

【サブタイトル（案）の最終結果】（委員：5名、語る会：17名）

〔新案〕 彩りと笑顔あふれるいにしへの里 志々 （委員：1票、語る会：5票）

〔新案〕 笑顔と活気あふれる しあわせの里 ～志津見湖～ （委員：4票、語る会：12票）

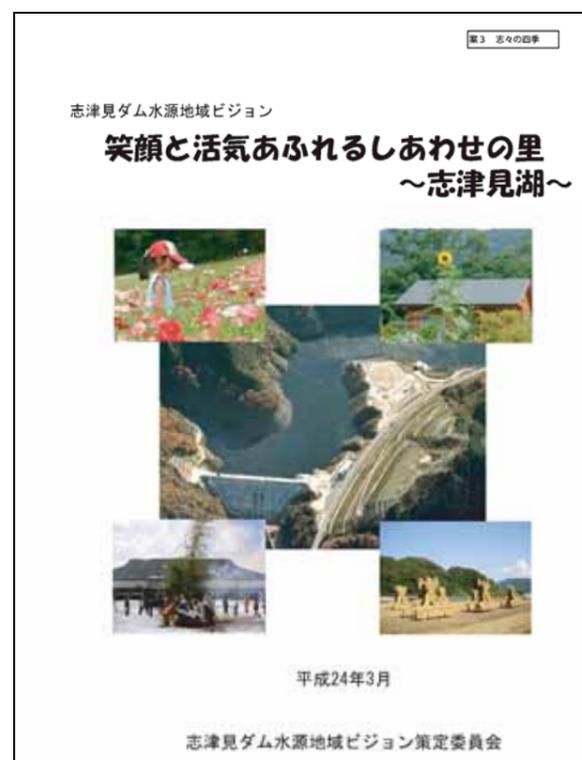
ビジョンの写真（回答数：6）



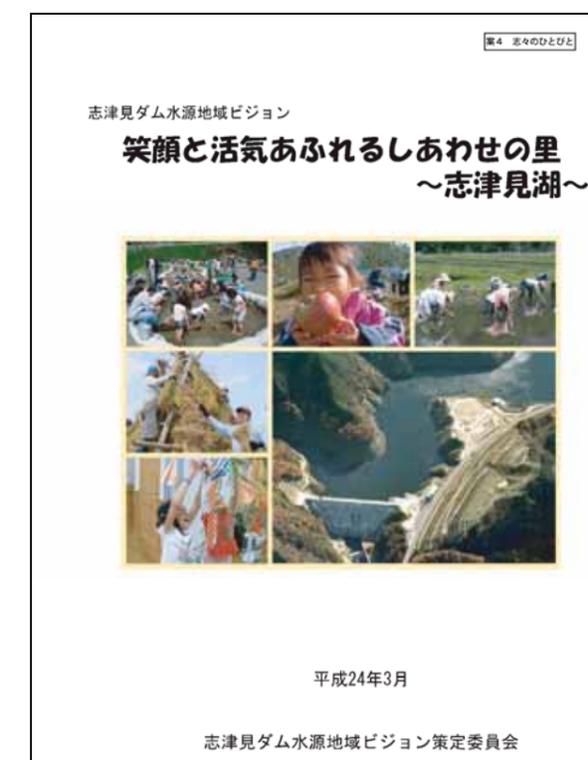
<案1> 「志々のみどころ」 1票



<案2> 「志々の今昔」 0票



<案3> 「志々の四季」 1票



<案4> 「志々のひとびと」 4票

(2)ビジョンの内容

ビジョンの内容について、委員及び語る会メンバーからいただいた意見とその対応を下表に整理した。

頁	意見	対応	
1	全般	文字が多い印象	【修正】 適宜写真を差し込み、文字の多い印象を緩和
2	全般	全般に硬い印象。地域住民にアピールするには難解な言葉が多い。注釈必要。	【修正】 適宜注釈を追加
3	全般	ダム礎石の銘文「命の水 命のダム」「願い 豊かなくらし」をビジョンへ引き継ぐ記述がほしい。	【修正】 P6、P9 に追加記載
4	1	水源地域の概況について、志々地区以外の記述も含まれている。対象地域が明確ではない。	水源地域の概況については、志々地区に限定せず、飯南町域も含めた広い範囲で整理している
5	1	中国横断自動車道の開通状況について、3/24の吉田掛合IC～三刀屋木次ICが開通とあるので、平成24年度は三次JCT・IC～吉田掛合ICの開通でよい。松江玉造ICが出るのは唐突の感がある。	【修正】 平成24年度は三次JCT・IC～吉田掛合ICの開通に修正
6	1	社会条件について、多くの歴史・文化遺産とあるが、「多くの歴史」という表現は違和感がある。	【修正】 「多くの歴史・文化遺産」をは、「多くの歴史遺産・文化遺産」に修正し、具体例を追記
7	4	図が白地になっているので、背景色をつけた方がよい。	【修正】 地図の背景に着色
8	6	花と志津見大橋の美しさがわかる写真を使用	【修正】 志津見ダム完成についての説明なので、ダム建設関連の写真に差し替え
9	7	3段落目は、もう少し簡潔に表現できないか。	【修正】 簡潔になるよう文章を見直し
10	7	工事の流れで、試験湛水開始は必要か。	試験湛水はダム建設の節目と考えて記載している
11	7	模式図の策定委員会・語る会は、ビジョン策定の真横に位置する方がよい。	【修正】 策定委員会・語る会の位置を修正
12	8	対象範囲の図示は湛水区域で貯水池とはことなるのでは。	【修正】 水源地域整備計画の範囲を包含するよう修正
13	8	対象範囲は拡大表示した方が志々地域として理解を得やすい	【修正】 水源地域の拡大図を追加
14	10	基本理念等の模式図について、地域の目標像や基本方針が関連づけられているが、基本理念にすべて含まれる形で模式化した方がよい。	【修正】 基本理念に地域の目標像・基本方針が含まれる図に修正
15	12	マトリクスが大きく、バランスが悪い。	【修正】 バランスを調整
16	29～44	注1:実施主体とは、事務局的な立場で施策の推進を統括する組織支援する機関。	【修正】 実施主体を「志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会」に修正し、注釈は推進委員会の目的を記載

頁	意見	対応	
17	29～44	注2:実施項目と役割分担の欄の 印は、施策の推進に関わる機関と想定される機関。なお、具体的に関わる期間機関および具体的内容については、推進時点段階で検討する。	【修正】 「なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については、推進段階で検討する」に修正 また、表の項目に「推進に関わる機関」を追加
18	29～44	注3:「地域」:水源地域住民・団体、「流域その他」:神戸川流域水源地域住民以外の住民・団体、「町」:飯南町、「県」:島根県、「国」:国土交通省	【修正】 「流域」:斐伊川流域などの住民・団体に修正
19	29～47	「施策」を使わないとするなら、何らかの言葉に変えるべきでは？	【修正】 「施策」は「アクションプラン」に統一
20	29	河川と道路の景観保全活動において、場所が「フラワーバレーなどの志津見湖内」となると、島根県の管理区間が含まれないことになる。	【修正】 「フラワーバレーなどの志津見湖内及び河川内」に修正
21	29	先行アクションプラン1のタイトルに環境を追加(イメージ・キーワードに環境が入っているため) 景観保全活動 景観・環境保全活動	すでに合意されたタイトルであるため現状のままとする
22	31	目的に「水源地の体験学習林としての活用」を追加	【修正】 目的に指摘内容を追加
23	37	・説明文を修正 「地区内の農林水産物をうぐいす茶屋のなどで「青空市」でととして販売するための仕組みをつくり、うぐいす茶屋の集客力を高めるとともに地域の経済効果を向上させる。」	【修正】 指摘のとおり修正
24	37	青空市の設置開催	【修正】 指摘のとおり修正
25	38	見どころや名所・旧跡を掘り起こしてマップに掲載するなど、既存マップのバージョンアップを検討する。	【修正】 「見所、名所・旧跡もあわせて紹介する」に修正
26	41	1年目に取り組むべき事項として、「志津見ダムの意義説明を行う」ことを追加。	【修正】 ダム見学会に具体的内容を追加
27	46	志々を元気にする会は仮称とする。	【修正】 指摘のとおり修正
28	47	推進委員会の開催頻度について、「1回程度」としなくてよいか。	「原則」としているため「程度」はつけない。
29	50	推進方法について、と でフォローアップについての記述が重複している。	【修正】 文章を見直し、フォローアップについての重複記載を修正。
30	50	「～開催支援を実行する。」は「～開催支援をする。」でよいのではないか。	【修正】 「～実施支援をしていきます。」に修正
31	50	「先行アクションプランの推進を契機に～」の契機という表現は違和感がある。	【修正】 「先行アクションプランの実施を契機に～」に修正
32	50	ビジョンの推進イメージについて、推進委員会と元気にする会が離れすぎていて、P47の推進組織図とリンクしないように見える。	【修正】 推進委員会と元気にする会の関係が明確になるように模式図を修正

注) 文字訂正等の意見については記載していない。

5. 広報について

(1) ホームページによる広報

国土交通省出雲河川事務所ホームページ上での委員会資料の公開



(2) ダム便りによる広報

国土交通省 出雲河川事務所 志津見ダム管理支所発行の「志津見ダム便り」にビジョンについての記事を掲載し、ホームページで公開。

志津見ダム便り

国土交通省 出雲河川事務所 志津見ダム管理支所
2号(12月14日版)

第1回志津見ダム水源地域ビジョン策定委員会を開催しました！！

・開催日 : 平成23年12月12日(月)
・開催場所 : さつき会館(島根県飯石郡飯南町八神117-1)

※水源地域ビジョンとは、ダムを活かした水源地域の自主的、持続的な活性化のために、水源地域の自治体、住民等がダム事業者・管理者と共同で策定する水源地域活性化のための行動計画です。

志津見ダムは平成23年6月より、地域の安全・安心を守る施設として、本格的に運用を開始したところです。また、志津見ダムにおいては、ダム湖周辺を活かした様々な取り組みも行われており、水源地域の活性化の点からも期待されています。この様な志津見ダムを水源地域のひとつの核として捉え、水源地域の自主的、持続的な活性化のための行動計画を策定するために、第1回志津見ダム水源地域ビジョン策定委員会を開催しました。
本委員会の委員長に飯南町長の山崎委員が就任され、今後、地域住民等で構成される「志津見ダムの活用を語る会」から意見・提案なども頂きながら、ビジョン策定に向け取組む予定です。

委員会開催状況



出席者一覧

氏名	所属	役職
志津見ダム周辺自治体 総合整備推進委員 会長	山崎 謙	
飯南町長	山崎 謙	
島根県 土木部	天津 秀郎	
斐伊川神戸川対策課長	藤田 亮弘	
島根県 土木部 事務官	中田 大輔	
国土交通省 中国地方整備局 出雲河川事務所長	中田 大輔	

～担当者からのひとこと～
志津見ダム水源地域ビジョンが地域の活性化に繋がる計画となるように、関係者の皆様と取組んで参る所存ですのでよろしくお願い致します。会議資料などについては出雲河川事務所のホームページより公開する予定です。

(3) その他

ニュースレターの作成・配布

委員会及び語る会開催後に、取り組み内容を『志津見ダム水源地域ビジョンニュース』としてとりまとめ、これまでに vol.1～vol.6 を発行した。

配布先については、従前のダム関連広報誌の配布先に、上下流交流や国道54号との連携を考慮した配布先を加えて、広域的に広報した。

【志津見ダム水源地域ビジョンニュースの発行状況】

- | | |
|---|--|
| <p>『志津見ダム水源地域ビジョンニュース vol.1』</p> <ul style="list-style-type: none"> 発行：平成24年1月4日 内容：ビジョンの策定について、第1回委員会の開催概要 | <p>『志津見ダム水源地域ビジョンニュース vol.4』</p> <ul style="list-style-type: none"> 発行：平成24年2月17日 内容：第3回語る会の開催概要 |
| <p>『志津見ダム水源地域ビジョンニュース vol.2』</p> <ul style="list-style-type: none"> 発行：平成24年1月24日 内容：第1回語る会の開催概要 | <p>『志津見ダム水源地域ビジョンニュース vol.5』</p> <ul style="list-style-type: none"> 発行：平成24年2月24日 内容：第2回委員会の開催概要 |
| <p>『志津見ダム水源地域ビジョンニュース vol.3』</p> <ul style="list-style-type: none"> 発行：平成24年2月9日 内容：第2回語る会の開催概要 | <p>『志津見ダム水源地域ビジョンニュース vol.6』</p> <ul style="list-style-type: none"> 発行：平成24年3月5日 内容：第4回語る会の開催概要 |

【配布先】

- | | |
|------------------|----------------|
| 国土交通省出雲河川事務所 | 道の駅 とんばら |
| 飯南町産業振興課 | 道の駅 赤来高原 |
| 志々公民館 | 出雲県土整備事務所 |
| クラインガルテン(クラブハウス) | 出雲市建設企画課 |
| 島根県庁 斐伊川神戸川対策課 | 国土交通省松江国道事務所 |
| 雲南県土整備事務所 | 松江市大橋川対策室 |
| 出雲市佐田支所 | 大橋川コミュニティーセンター |
- は従前からダム関連広報誌の配布先 は連携拡大の観点から新たに追加した配布先

志津見ダム便り

国土交通省 出雲河川事務所 志津見ダム管理支所
3号(1月16日版)

第1回“志津見ダムの活用を語る会”開催しました！！

・開催日 : 平成24年1月11日(水)
・開催場所 : さつき会館(島根県飯石郡飯南町八神117-1)

※志津見ダムの活用を語る会は志津見ダム水源地域ビジョン策定に向け、地域住民などで構成された、地域活性化のための方策等について意見・提案を行う懇話会です。

第1回“志津見ダムの活用を語る会”を開催しました。今回は、参加者25名が“みんなの考えを出し合おう”というテーマで2班に分かれ、志津見ダム水源地域ビジョン策定委員会で示された3つの基本方針(美しいふるさとづくり、明るく元気で豊かなふるさとづくり、人が集まるふるさとづくり)を実施するには何をすればよいかについてイメージやキーワード、実行のアイデアについて出しました。次回は今回頂いたアイデアについて実施の可能性を整理し、取り組み内容の具体化や順位付けについて意見交換する予定です。

班別意見交換の様子です



班別発表を行いました。



～担当者からのひとこと～
出席者のみなさまにおかれましては、貴重なご意見をありがとうございました。頂いた意見をふまえ、よりよい志津見ダム水源地域ビジョンとなるよう努めますのでよろしくお願い致します。

志津見ダム水源地域ビジョンニュース

発行 志津見ダム水源地域ビジョン策定委員会事務局
飯南町産業振興課
島根県
国土交通省出雲河川事務所

『第2回 志津見ダム水源地域ビジョン策定委員会』開催！

平成24年2月20日（月）に「第2回 志津見ダム水源地域ビジョン策定委員会」を「さつき会館（島根県飯石郡飯南町八神117-1）」で開催しました。

第2回委員会では、第1回委員会以降に開催された計3回の「志津見ダムの活用を語る会」までの経過報告のあと、

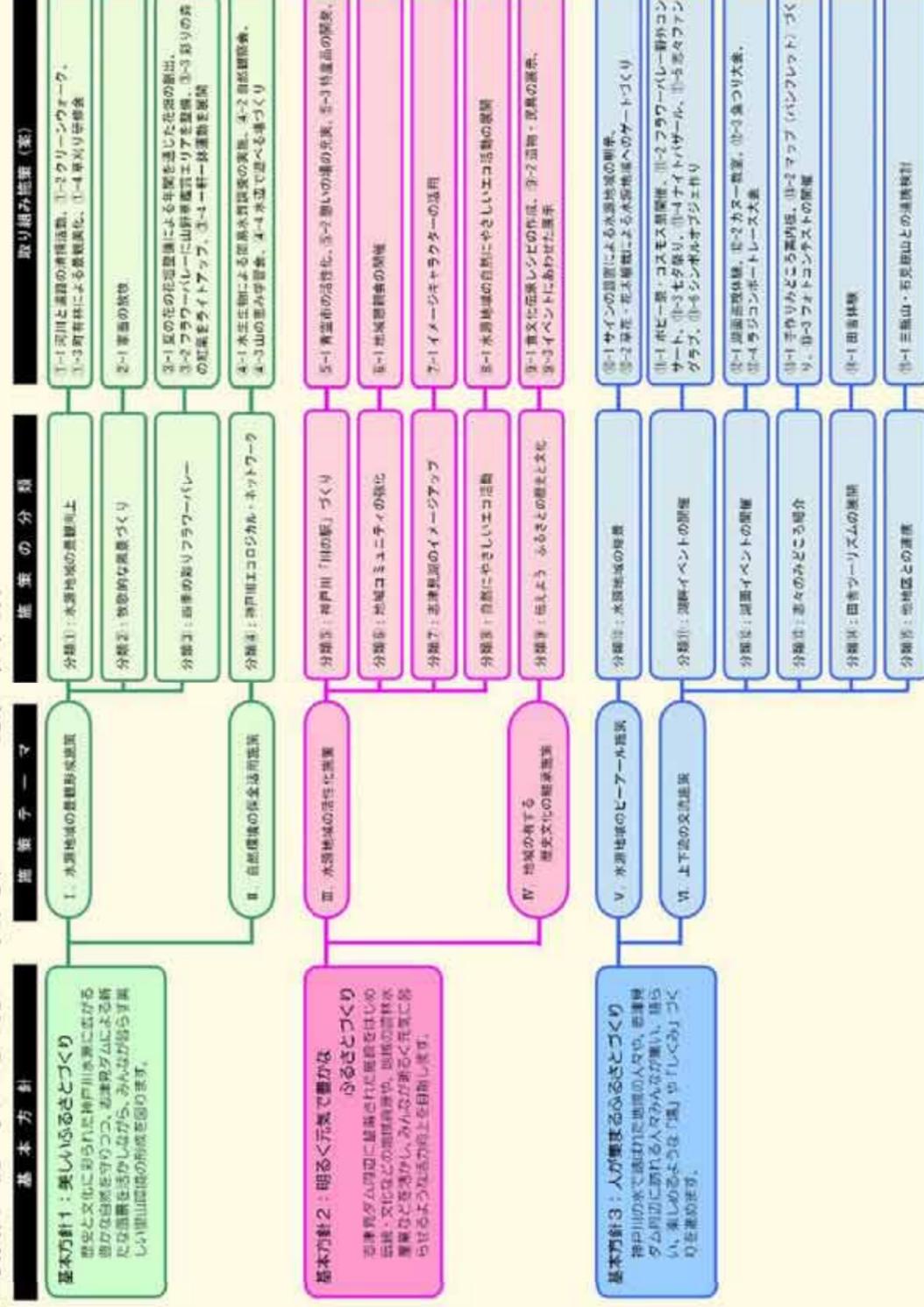
- 志津見ダム水源地域ビジョンの理念・目標・基本方針について
 - 志津見ダム水源地域ビジョンにおける施策について
 - 志津見ダム水源地域ビジョンの構成について
- の3項目について審議しました。

志津見ダム水源地域ビジョンの理念・目標・基本方針の一部修正については、語る会での検討経緯が紹介され、その後、委員会で承認されました。

志津見ダム水源地域ビジョンにおける施策については、語る会で議論してきた内容が、6つの「施策テーマ」、15の「施策」に分類され、それぞれの分類ごとに「取り組み施策」が整理され、3つの基本方針の具体化に向けた施策の体系が示されました。また、先行的に平成24年度から取り組む「先行施策」として13の取り組み施策が確認されました。

この後、2月27日に「第4回 語る会」を開催し、施策内容の具体化、ビジョン（素案）、推進体制の検討を行い、次回、第3回委員会を3月中旬頃に開催し、ビジョン案やビジョン推進体制、ビジョンの公表方法を審議していただく予定です。

■ 委員会に提示された志津見ダム水源地域ビジョン 施策の体系(案)



● 第2回委員会が開催されました

志津見ダム水源地域ビジョンニュース

発行 志津見ダム水源地域ビジョン策定委員会事務局

飯南町産業振興課

島根県

国土交通省出雲河川事務所

『第4回 志津見ダムの活用を語る会』を開催しました！

平成24年2月27日（月）に「第4回 志津見ダムの活用を語る会」を開催しました。『みんなの意見をまとめよう！』というテーマのもと、水源地域ビジョンの施策の内容について意見交換を行いました。当日は21名の方に参加いただきました。

第4回語る会では、第2回志津見ダム水源地域ビジョン策定委員会の議事内容について確認し変更点について確認した後、志津見ダム水源地域ビジョンの施策の内容、推進体制、公表方法について熱心に意見交換を行いました。語る会は、今回の第4回をもって終了となり、3月中旬に行われる第3回委員会で志津見ダム水源地域ビジョン（案）について審議され、志津見ダム水源地域ビジョンが策定される予定です。

●第4回 志津見ダムの活用を語る会

日時：平成24年2月27日（水） 19時00分～21時15分

場所：さつき会館

○志津見ダム水源地域ビジョンの施策の内容（案）について

これまでにとりまとめた全てのアクションプランについて、取り組み内容（目的、場所、内容）を、また、先行アクションプラン（1年目から着手）については、取り組み内容に加え1年目で取り組みむべき事項、実施主体、実施項目と役割分担を議論しました。

○ビジョンの推進体制について

ビジョン策定後の推進体制（案）について、事務局案を提案し確認されました。

○ビジョンの公表について

ビジョンの表紙写真、サブタイトル（案）についての意見交換を行いました。サブタイトルについては投票を行いその結果、「彩りと笑顔あふれるいしえの里 志々」と「笑顔と活気あふれる しあわせの里 ～志津見湖～」が同票であったことから、この2案で再度投票を行いました。

結果については、委員の投票も行った後に集計してビジョンのサブタイトルを決定します。

○語る会出された主な意見：

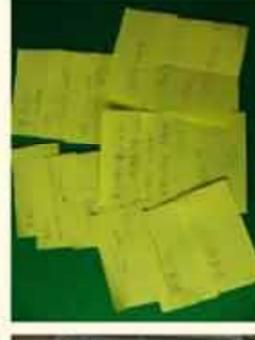
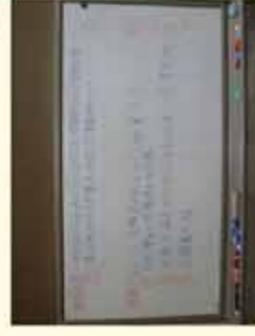
- ・「手作りみどころ案内板」の取り組み場所については、まずは全体がひと目でわかるようなものがいいか。
- ・「志々ファンクラブ（仮称）」には「水源地域（志々地区）」だけでなくもっと広域の方達に参加してもらいたい。
- ・ビジョン冊子をもっと写真やイラストを増やしたものにしたい。
- ・人を中心に考えていくビジョンなので、表紙には人の写真があったほうがいい。

など

◆語る会（全4回）の開催概要

回	開催日	テーマ	概要
第1回	平成23年1月11日	みんなの考えを出し合おう！	・基本方針を実行するために何をすればいいか、イメージやキーワード、取り組みのアイデア、課題などについて話し合い ・追加のアイデアを出し合い、施策としてとりまとめました。
第2回	平成24年1月25日	取り組み内容について話し合おう！	・続いて、施策の位置づけ（実施時期・難易度）を表に整理
第3回	平成24年1月10日	取り組み内容について話し合おう！	・施策の内容（目的・方法など）について分類し、各施策の取り組み時期を表に整理し、先行的（1年目）に取り組みむべき内容について意見交換
第4回	平成24年2月27日（最終）	みんなの意見をまとめよう！	・水源地域ビジョンの施策の内容について意見交換 ・ビジョンの表紙、サブタイトルについて意見交換

●ビジョンのサブタイトルの投票結果



●アクションプランの内容、ビジョンの推進体制について意見交換しました



6. 策定スケジュール

